

目次

- ★ 発生動向総覧 P 1～3
- ★ 感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況 P 3
- ★ 指定届出機関からの特記事項欄コメント P 3～4
- ★ 全数把握感染症集計表 P 5
- ★ 定点把握感染症集計表 P 6～10
- ★ 定点把握感染症推移グラフ P 11～15
- ★ 定点把握感染症集計表（月報） P 16～19
- ★ 定点把握感染症推移グラフ（月報） P 20～21
- ★ 今シーズンのインフルエンザの流行状況 P 22～24
- ★ 感染症媒介蚊定点モニタリングの結果（7月実施分） P 25
- ★ 新型コロナウイルス感染症の状況 P 26～



発生動向総覧

◆全数届出の感染症

- 1 類感染症 報告なし
- 2 類感染症 結核（東部（1）、富士（1）、静岡市（3）、西部（2）、浜松市（4））
- 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症（静岡市（2））
- 4 類感染症 E型肝炎（西部（1））、日本紅斑熱（西部（1））
- 5 類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（賀茂（1）、静岡市（1））、急性脳炎（浜松市（1））、クロイツフェルト・ヤコブ病（浜松市（1））、後天性免疫不全症候群（浜松市（1））、梅毒（富士（1）、静岡市（1）、西部（2））、百日咳（東部（1））

◆定点把握の対象となる5類感染症（週報対象のもの）

環境衛生科学研究所
感染症情報センター

感染症発生動向調査

令和5年第31週(7/31～8/6)の動向

警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値(開始基準値)以上で開始し、別の基準値(終息基準値)未満で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合です。警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

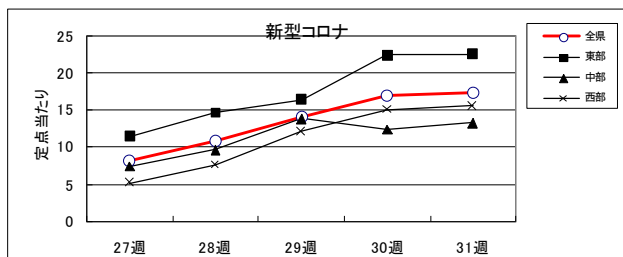
疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

【今週のコメント】

ヘルパンギーナは、全県で罹患数158、定点当たり1.78の患者発生があり、前週の2.76から減少し、**流行の警報レベルの終息基準値の2を切りました。**

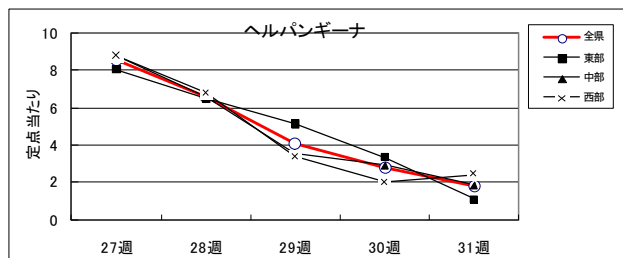
【新型コロナ】

全県で罹患数2,421、定点当たり17.42の患者発生があり、前週の16.92から増加した。定点当たり東部地区で22.6、中部地区で13.31、西部地区で15.57の患者が発生した。



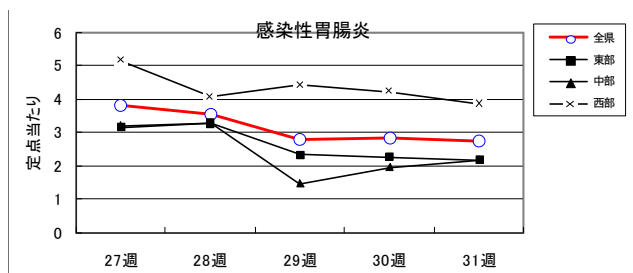
【ヘルパンギーナ】

全県で罹患数158、定点当たり1.78の患者発生があり、前週の2.76から減少した。定点当たり東部地区で1.09、中部地区で1.85、西部地区で2.43の患者が発生した。



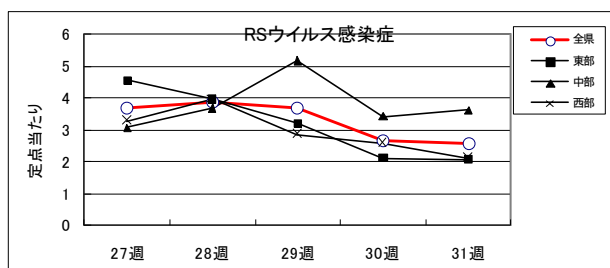
【感染性胃腸炎】

全県で罹患数245、定点当たり2.75の患者発生があり、前週の2.84から減少した。定点当たり東部地区で2.19、中部地区で2.19、西部地区で3.87の患者が発生した。



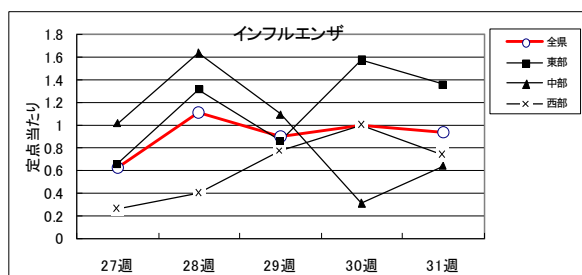
【RSウイルス感染症】

全県で罹患数229、定点当たり2.57の患者発生があり、前週の2.69から減少した。定点当たり東部地区で2.09、中部地区で3.63、西部地区で2.13の患者が発生した。



【インフルエンザ】

全県で罹患数130、定点当たり0.94の患者発生があり、前週の1.0から減少した。定点当たりは、東部地区で1.36、中部地区で0.64、西部地区で0.74の発生があった。

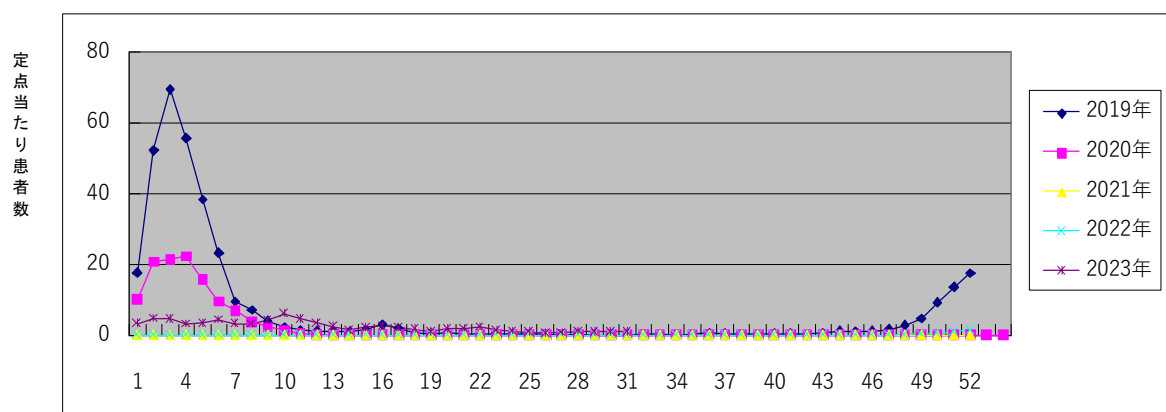


・麻疹、風疹は患者発生なし。

・全国のインフルエンザの発生は1.44で前週の1.64から減少した。警報及び注意報レベルの保健所を有する都道府県は8から7に減少した。

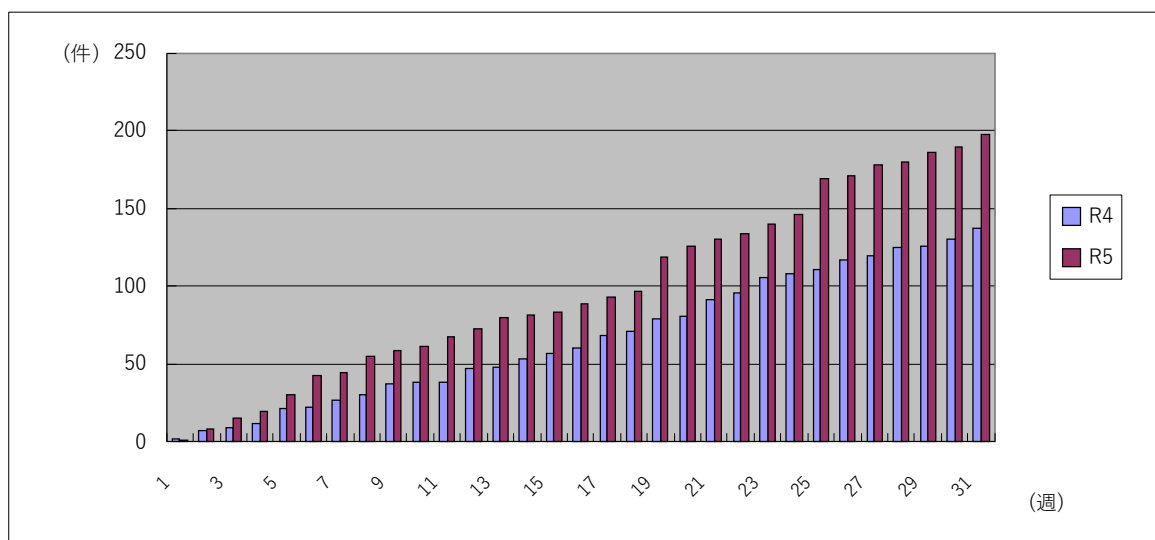
・静岡県において第31週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)新型コロナ(17.42)、2)感染性胃腸炎(2.75)、3)RSウイルス感染症(2.57)、4)ヘルパンギーナ(1.78)、5)インフルエンザ(0.94)、6)手足口病(0.64)であった。

【インフルエンザ罹患数推移】



【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】

・第31週は前年同期比1.44倍の増加となった。



◆感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況

警報 ヘルパンギーナ (中部)

注意報 なし



指定届出機関からの特記事項欄コメント

感染症第31週 (令和5年7月31日～令和5年8月6日)

かわづクリニック (河津町) 「ヒトメタニューモ 1名 (3歳女児)」

高野医院 (伊東市) 「新型コロナ 35名」

むらかみ小児科クリニック (伊東市) 「手足口病 1名 (今シーズン初、県外からの旅行者)」

白十字小児科医院 (沼津市) 「インフルエンザA型 2名」

光ヶ丘小児科（三島市）「新型コロナ 17名、腸管アデノ 1名、RS 7名、インフルエンザA型 1名、ノロ 2名、ヒトメタニューモ 15名、咽頭アデノ 1名」

よざ小児科医院（沼津市）「新型コロナ 15名」

函南平出クリニック（函南町）「新型コロナ 28名、インフルエンザA型 6名、ヒトメタニューモ 7名、RS 6名、咽頭アデノ 2名、突発性発疹 1名、ヘルパンギーナ 3名、溶連菌 1名」

クボタ小児科（三島市）「インフルエンザA型 1名」

なかがわ医院（小山町）「インフルエンザA型 1名」

安田内科小児科医院（御殿場市）「ヒトメタニューモ 2名」

富士病院（御殿場市）「インフルエンザA型 6名」

たうち小児科医院（御殿場市）「インフルエンザA型 11名、新型コロナ 75名、ヒトメタニューモ 29名」

お八幡医院（御殿場市）「インフルエンザA型 1名」

小川小児科内科医院（富士市）「インフルエンザA型 7名、新型コロナ 92名」

木村内科医院（富士市）「新型コロナ 9名」

共立蒲原総合病院・内科（富士市）「インフルエンザ 1名、新型コロナ 44名」

幸治小児科医院（富士市）「インフルエンザ 3名、新型コロナ 16名」

聖隷富士病院（富士市）「新型コロナ 24名」

瀬尾小児科内科医院（富士市）「インフルエンザ 4名、新型コロナ 31名」

田子浦クリニック（富士市）「インフルエンザ 5名、新型コロナ 55名」

谷口小児科医院（富士宮市）「新型コロナ 10名」

永松医院（富士市）「新型コロナ 3名」

南陽堂内科循環器科クリニック（富士宮市）「新型コロナ 2名」

平野医院（富士市）「新型コロナ 6名」

富士市立中央病院（富士市）「インフルエンザ 6名、新型コロナ 13名」

富士宮市立病院（富士宮市）「新型コロナ 3名」

三浦医院（富士宮市）「インフルエンザ 6名、新型コロナ 23名」

きもと小児科（湖西市）「インフルエンザA型 3名」

浜松医療センター（浜松市）「ヒトメタニューモ 2名」

クリニックパパ（浜松市）「ヒトメタニューモ 14名、インフルエンザA型 4名」

幸田子供クリニック（浜松市）「ヒトメタニューモ 2名」

※特記事項欄コメントによるインフルエンザウイルス型別状況（R4-R5 シーズン累計）

区分	報告数	割合
インフルエンザA型	4,186名	98%
インフルエンザB型	99名	2%

静岡県の感染症週報はホームページでも御覧いただけます。

（「静岡県 感染症情報センター」で検索）

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>

疾患名	区分	静岡県						全国					
		26週	27週	28週	29週	30週	今週	年累計	28週	29週	30週	今週	年累計
エボラ出血熱													
クリミア・コンゴ出血熱													
痘そう													
南米出血熱													
ペスト													
マールブルグ病													
ラッサ熱													
急性灰白髄炎													
結核		6	9	7	4	9	11	205	212	221	244	259	8,141
ジフテリア													
重症急性呼吸器症候群(SARS)													
中東呼吸器症候群(MERS)													
鳥インフルエンザH5N1													
鳥インフルエンザH7N9													
コレラ													1
細菌性赤痢									3	2			23
腸管出血性大腸菌感染症		6	1	2		2	2	23	113	100	131	115	1,735
腸チフス										1	1	2	26
パラチフス													6
E型肝炎				1		1	1	5	14	7	9	7	361
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
A型肝炎									1	2		1	33
エキノコックス症										1			9
エムボックス								1	2	1			185
賞熱													
オウム病										1			6
オムスク出血熱													
回帰熱													10
キャサスル森林病													
Q熱													
狂犬病													
コクシジオイデス症													1
ジカウイルス感染症													
重症熱性血小板減少症候群					1			3	4	6	3	6	104
腎症候性出血熱													
西部ウマ脳炎													
ダニ媒介脳炎													
炭疽													
テクングニア熱													2
つつが虫病									1		1		108
デング熱						1		1	3	5	3	2	53
東部ウマ脳炎													
鳥インフルエンザ													
ニパウイルス感染症													
日本紅斑熱				1			1	5	6	11	8	15	210
日本脳炎													
ハンタウイルス肺症候群													
Bウイルス病													
鼻疽													
ブルセラ症													1
ベネズエラウマ脳炎													
ヘンドラウイルス感染症													
発しんチフス													
ポツリヌス症													
マラリア												2	10
野兔病													
ライム病										3	4		15
リッサウイルス感染症													
リフトバレー熱													
類鼻疽													
レジオネラ症	1		1	2	1			33	64	55	47	34	1,260
レプトスピラ症									3				8
ロッキー山紅斑熱													
アマーバ赤痢								11	3	8	7	7	296
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)								1	5	1	1	1	153
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症							2	15	19	21	28	33	1,068
急性弛緩性麻痺									2		1	2	37
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)			1					1	3	8	14	13	325
クリプトスポリジウム症										1			5
クロイツフェルト・ヤコブ病	1							1	1		1	5	88
劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1	1			17	11	10	8	18	504
後天性免疫不全症候群				1				7	14	10	11	10	575
ジアルジア症								2	1	1			28
侵襲性インフルエンザ菌感染症			1					7	19	15	10	7	327
侵襲性髄膜炎菌感染症									1				10
侵襲性肺炎球菌感染症	1							18	12	25	20	24	1,076
水痘(入院例に限る)	1		1		1			9	9	5	7	4	231
先天性風しん症候群													
梅毒	1	5			1		4	197	179	179	194	202	8,950
播種性クリプトコックス症								2	1	1	1	3	105
破傷風								2	3	2	4	4	62
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1					9	1	2	2	2	78
百日咳		1					1	7	26	27	24	18	555
風しん												2	11
麻しん	1							2					22
薬剤耐性アシネトバクター感染症										1	1		11
新型インフルエンザ等感染症													

※医療機関から届出の追加や取り下げがあった場合、増減することがあります。

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムボックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変更されました。

定点把握感染症集計表(届出数)

2023年 31 週

	静岡県							全国				
	26週	27週	28週	29週	30週	今週	計	28週	29週	30週	今週	計
RSウイルス感染症	336	328	346	329	239	229	1,807	9,882	8,124	7,073	5,854	30,933
咽頭結膜熱	35	20	35	19	25	23	157	1,728	1,596	1,677	1,993	6,994
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	57	71	62	52	65	55	362	4,520	3,567	4,135	3,864	16,086
感染性胃腸炎	359	342	316	248	253	245	1,763	12,195	9,697	10,239	9,722	41,853
水痘	10	4	5	6	2	9	36	309	345	309	305	1,268
手足口病	82	80	82	71	60	57	432	3,780	3,883	4,001	3,815	15,479
伝染性紅斑		8	6	6	1	6	27	67	68	66	43	244
突発性発しん	30	27	19	13	21	21	131	888	765	786	848	3,287
ヘルパンギーナ	773	760	589	362	246	158	2,888	21,443	14,789	13,629	9,581	59,442
流行性耳下腺炎	1	8	5	3	5	5	27	273	167	177	194	811
インフルエンザ	75	88	154	125	139	130	711	8,640	7,847	8,088	7,090	31,665
新型コロナウイルス感染症	915	1,128	1,497	1,973	2,352	2,421	10,286	54,150	68,601	78,502	77,937	279,190
急性出血性結膜炎								10	8	8	10	36
流行性角結膜炎	3	11	4	2	2	2	24	296	251	350	373	1,270
細菌性髄膜炎			1	1		2	1	6	9	8	14	25
無菌性髄膜炎			1		1		3	23	18	20	18	44
マイコプラズマ肺炎	1		1	1	2	2	7	12	9	17	20	58
クラミジア肺炎(オウム病は除く)								1	1			2
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								4	1	4	1	10

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症集計表(定点当り)

2023年 31 週

	静岡県						全国			
	第26週	第27週	第28週	第29週	第30週	今週	第28週	第29週	第30週	今週
RSウイルス感染症	3.78	3.69	3.89	3.70	2.69	2.57	3.16	2.59	2.25	1.87
咽頭結膜熱	0.39	0.22	0.39	0.21	0.28	0.26	0.55	0.51	0.53	0.64
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.64	0.80	0.70	0.58	0.73	0.62	1.45	1.14	1.32	1.23
感染性胃腸炎	4.03	3.84	3.55	2.79	2.84	2.75	3.90	3.09	3.26	3.10
水痘	0.11	0.04	0.06	0.07	0.02	0.10	0.10	0.11	0.10	0.10
手足口病	0.92	0.90	0.92	0.80	0.67	0.64	1.21	1.24	1.27	1.22
伝染性紅斑		0.09	0.01	0.07	0.01	0.07	0.02	0.02	0.02	0.01
突発性発しん	0.34	0.30	0.21	0.15	0.24	0.24	0.28	0.24	0.25	0.27
ヘルパンギーナ	8.69	8.54	6.62	4.07	2.76	1.78	6.86	4.71	4.34	3.06
流行性耳下腺炎	0.01	0.09	0.06	0.03	0.06	0.06	0.09	0.05	0.06	0.06
インフルエンザ	0.54	0.63	1.11	0.90	1.00	0.94	1.76	1.59	1.64	1.44
新型コロナウイルス感染症	6.58	8.12	10.77	14.19	16.92	17.42	11.04	13.91	15.91	15.81
急性出血性結膜炎							0.01	0.01	0.01	0.01
流行性角結膜炎	0.14	0.50	0.18	0.09	0.09	0.09	0.43	0.36	0.50	0.54
細菌性髄膜炎			0.10	0.10		0.20	0.01	0.02	0.02	0.03
無菌性髄膜炎			0.10		0.10		0.05	0.04	0.04	0.04
マイコプラズマ肺炎	0.10		0.10	0.10	0.20	0.20	0.03	0.02	0.04	0.04
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0.00	0.00		
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.01	0.00	0.01	0.00

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

感染症 31 週

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	229	2.57	23	0.26	55	0.62	245	2.75	9	0.10
賀茂	1	0.50					2	1.00		
熱海	8	2.00	1	0.25			3	0.75		
東部	24	1.85	3	0.23	5	0.38	54	4.15	3	0.23
御殿場	18	4.50	1	0.25	9	2.25	6	1.50	1	0.25
富士	16	1.78	2	0.22	5	0.56	5	0.56	2	0.22
静岡市	82	5.13	7	0.44	7	0.44	37	2.31		
中部	16	1.45			7	0.64	22	2.00		
西部	34	2.83	3	0.25	13	1.08	34	2.83		
浜松市	30	1.67	6	0.33	9	0.50	82	4.56	3	0.17

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	57	0.64	6	0.07	21	0.24	158	1.78	5	0.06
賀茂	6	3.00			1	0.50				
熱海	1	0.25					4	1.00		
東部	1	0.08			2	0.15	15	1.15	1	0.08
御殿場	2	0.50			2	0.50	2	0.50		
富士	5	0.56			2	0.22	14	1.56	1	0.11
静岡市					2	0.13	17	1.06		
中部	3	0.27			2	0.18	33	3.00		
西部	12	1.00	6	0.50	5	0.42	42	3.50		
浜松市	27	1.50			5	0.28	31	1.72	3	0.17

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症		麻しん (全数報告)		風しん (全数報告)		指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	週計	累計	小児科	内科
総数	130	0.94	2,421	17.42	0	2	0	0	89	50
賀茂	1	0.33	88	29.33					2	1
熱海			159	26.50					4	2
東部	15	0.75	276	13.80					13	7
御殿場	20	3.33	276	46.00					4	2
富士	32	2.13	331	22.07					9	6
静岡市	23	0.92	318	12.72					16	9
中部	4	0.24	241	14.18					11	6
西部	13	0.68	405	21.32		1			12	7
浜松市	22	0.79	327	11.68		1			18	10

*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

感染症 31 週

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		2	0.09	2	0.20	0		2	0.20
賀茂										
熱海									2	2.00
東部										
御殿場										
富士										
静岡市			1	0.20						
中部										
西部			1	0.25	1	1.00				
浜松市					1	0.50				

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

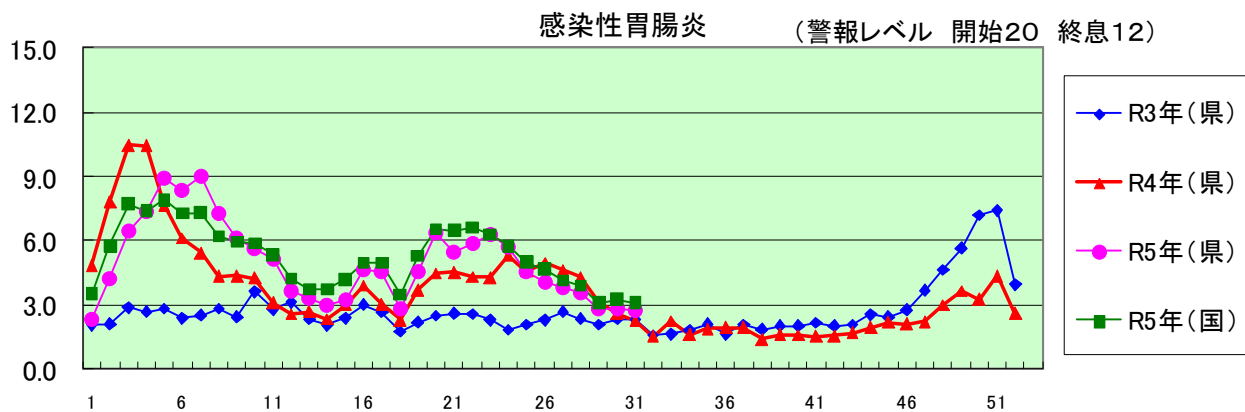
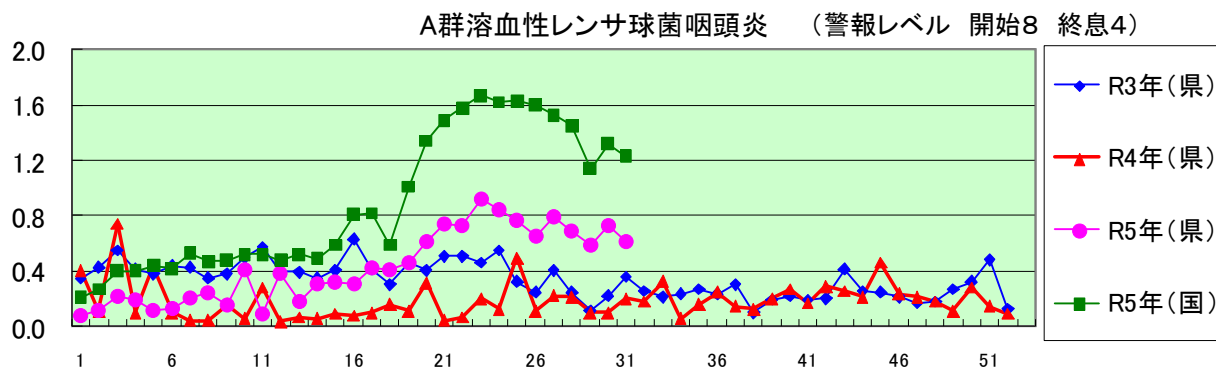
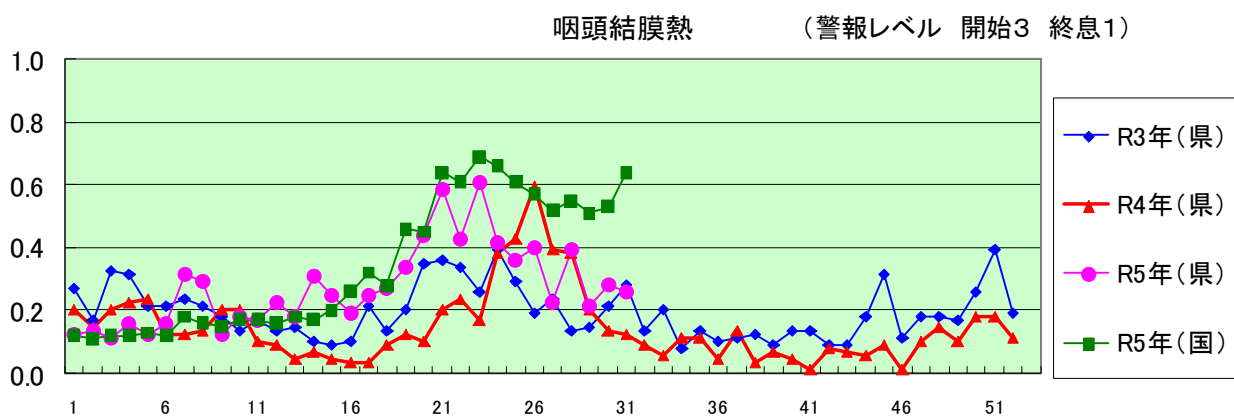
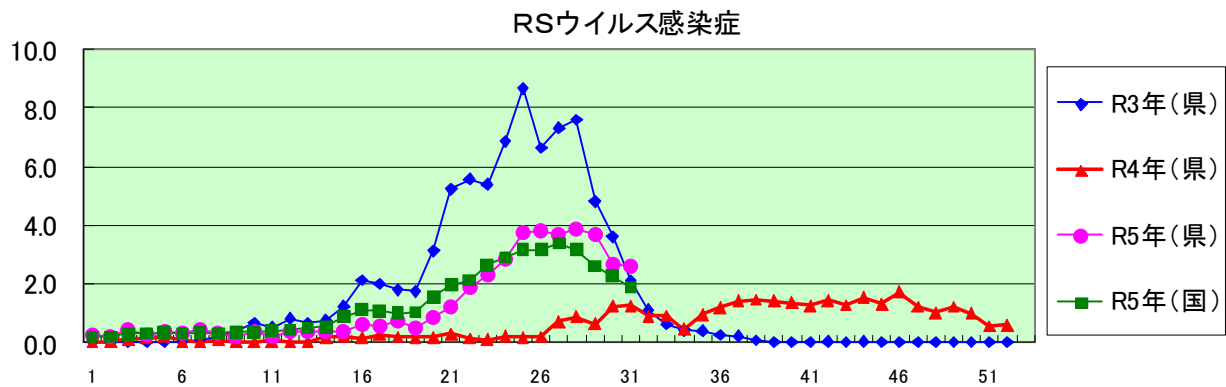
2023年 31 週

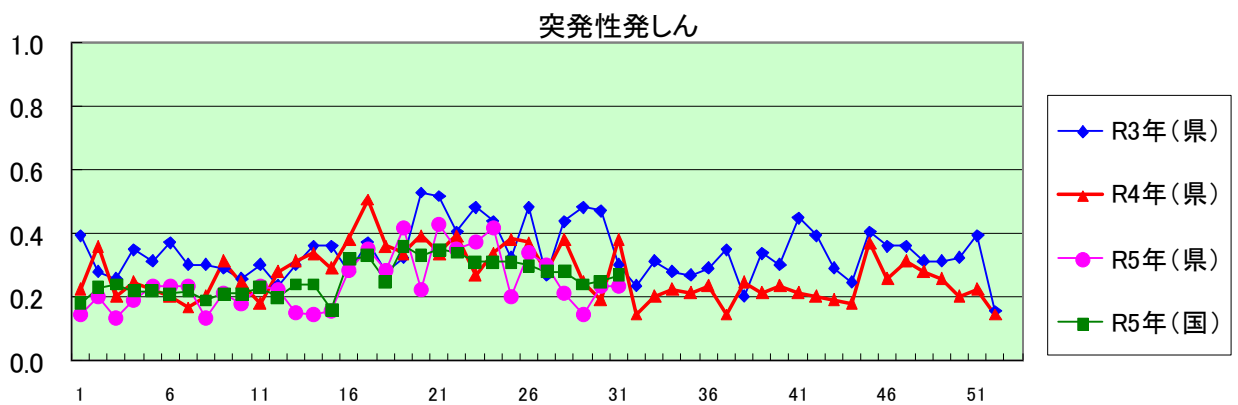
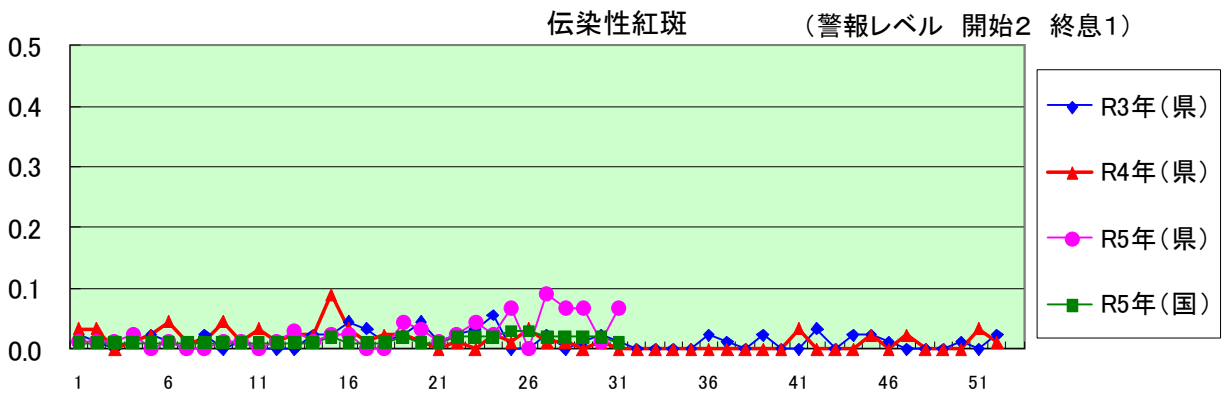
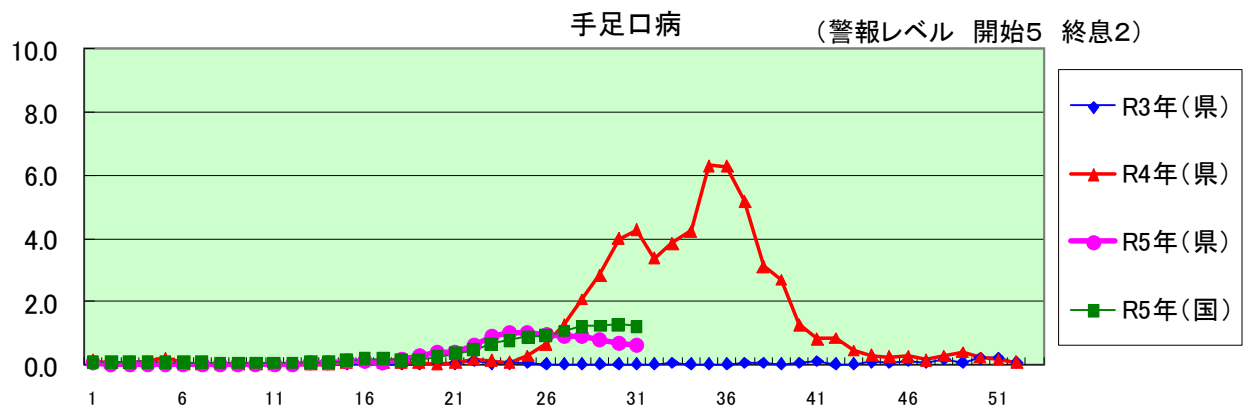
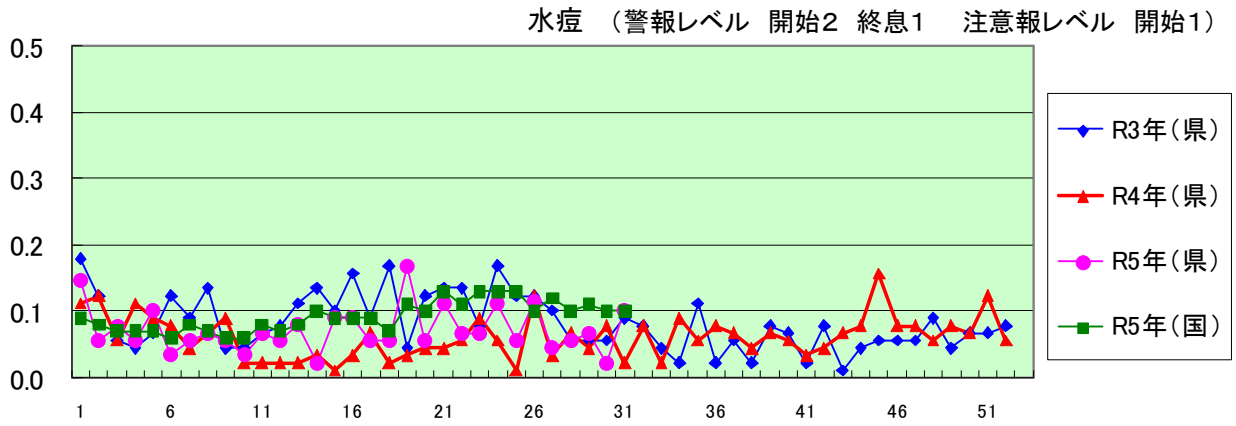
年齢階級区分	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	
〃(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上								
〃(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上			
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上						
RSウイルス感染症	29	27	73	48	30	9	9		3		1										229	
咽頭結膜炎	1		5	4	4	1	2	2	1	2					1						23	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	5	5	5	8	6	9	6	3	1	5		1							55	
感染性胃腸炎	2	18	59	37	24	19	26	11	12	4	9	16	1	7							245	
水痘					1	1	2	2	1	2											9	
手足口病	2	5	18	8	6	7	7	3	1												57	
伝染性紅斑		1	1	1		3															6	
突発性発しん	2	7	8	4																	21	
ヘルパンギーナ	1	10	37	23	16	20	26	10	4	2	2	4	1	2							158	
流行性耳下腺炎						1	1			1	1	1									5	
インフルエンザ			5	1	3	5	20	11	23	12	8	17	1	1	8	6			2	1	6	130
新型コロナウイルス感染症	32	30	50	32	41	31	51	32	48	40	40	197	129	250	273	307	258	223	178	179	2,421	
急性出血性結膜炎																						
流行性角結膜炎																			1	1	2	
細菌性髄膜炎																2					2	
無菌性髄膜炎																						
マイコプラズマ肺炎		1		1																	2	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																						
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに属する。)																						

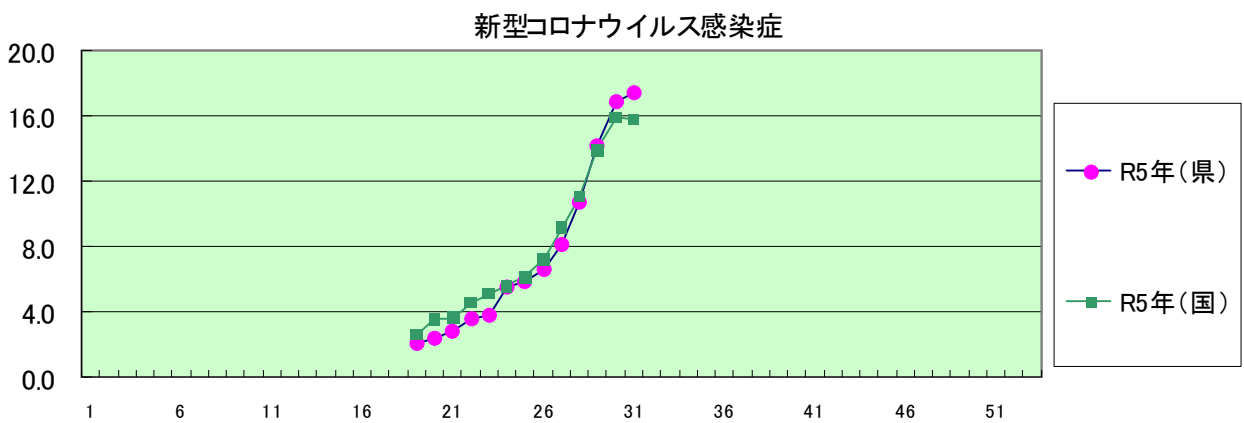
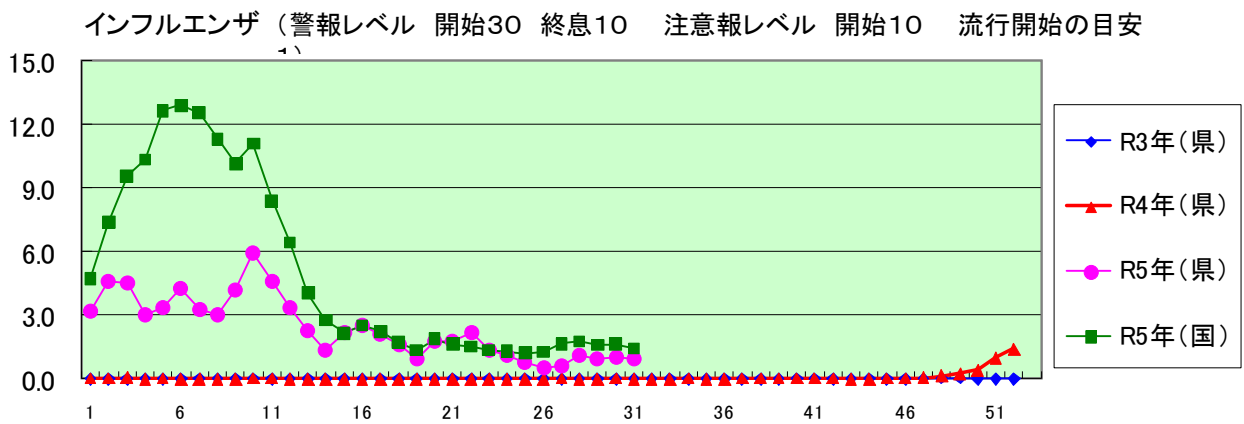
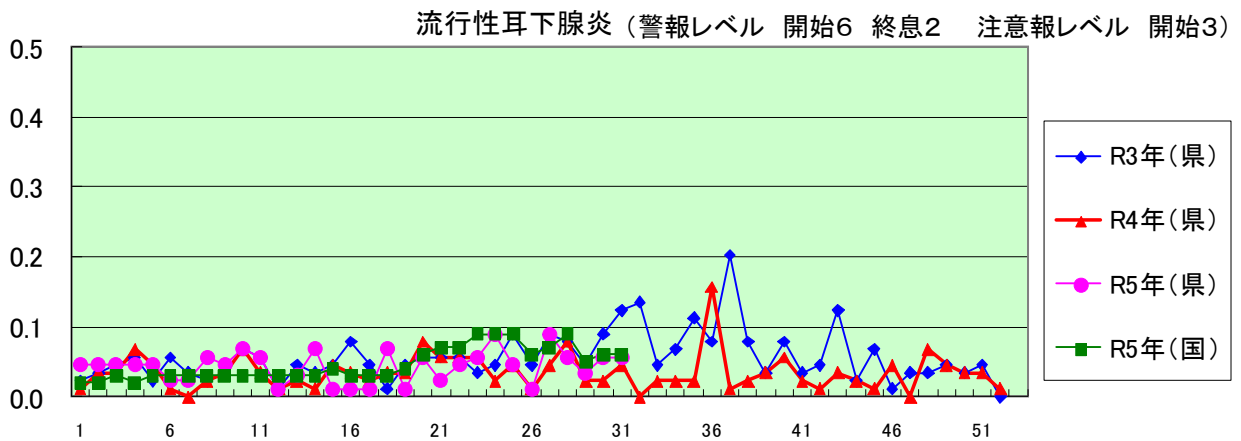
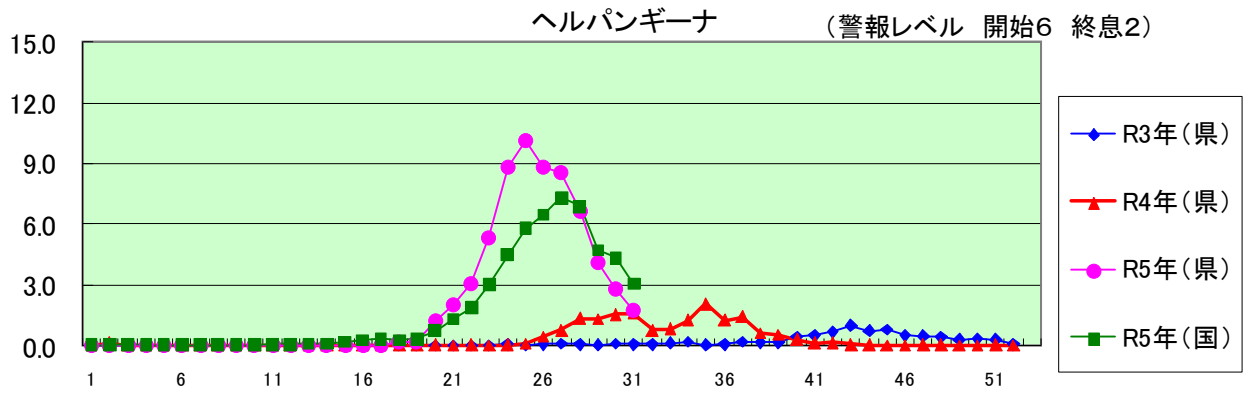
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

2023年 31 週

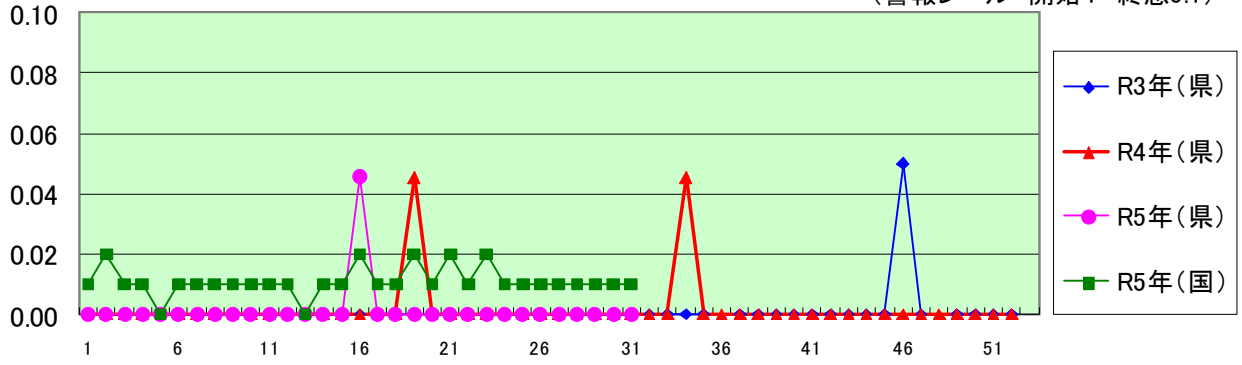
年齢階級区分	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
〃(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
〃(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	0.33	0.30	0.82	0.54	0.34	0.10	0.10		0.03		0.01										2.57
咽頭結膜炎	0.01		0.06	0.04	0.04	0.01	0.02	0.02	0.01	0.02				0.01							0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.01	0.06	0.06	0.06	0.09	0.07	0.10	0.07	0.03	0.01	0.06		0.01							0.62
感染性胃腸炎	0.02	0.20	0.66	0.42	0.27	0.21	0.29	0.12	0.13	0.04	0.10	0.18	0.01	0.08							2.75
水痘					0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.02											0.10
手足口病	0.02	0.06	0.20	0.09	0.07	0.08	0.08	0.03	0.01												0.64
伝染性紅斑		0.01	0.01	0.01		0.03															0.07
突発性発しん	0.02	0.08	0.09	0.04																	0.24
ヘルパンギーナ	0.01	0.11	0.42	0.26	0.18	0.22	0.29	0.11	0.04	0.02	0.02	0.04	0.01	0.02							1.78
流行性耳下腺炎						0.01	0.01			0.01	0.01	0.01									0.06
インフルエンザ			0.04	0.01	0.02	0.04	0.14	0.08	0.17	0.09	0.06	0.12	0.01	0.01	0.06	0.04		0.01	0.01	0.04	0.94
新型コロナウイルス感染症	0.23	0.22	0.36	0.23	0.29	0.22	0.37	0.23	0.35	0.29	0.29	1.42	0.93	1.80	1.96	2.21	1.86	1.60	1.28	1.29	17.42
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎																			0.05	0.05	0.09
細菌性髄膜炎																0.20					0.20
無菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎		0.10		0.10																	0.20
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに属する。)																					



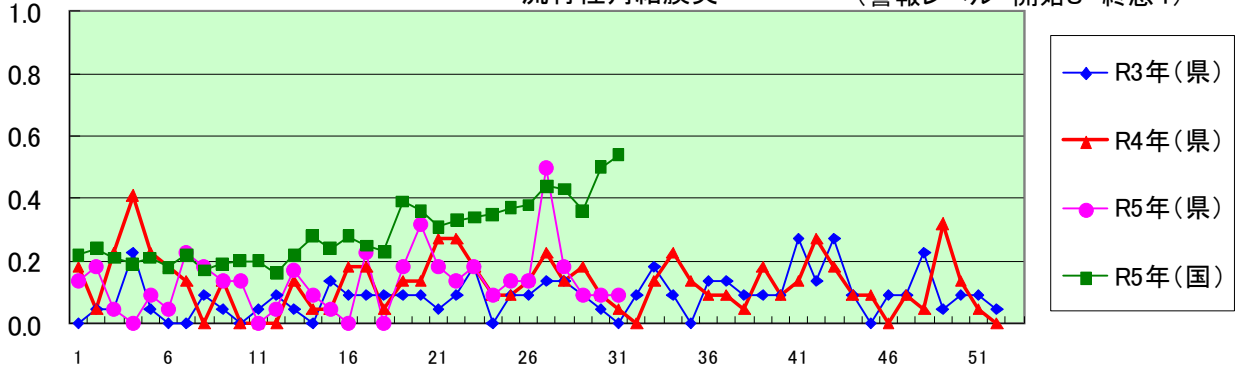




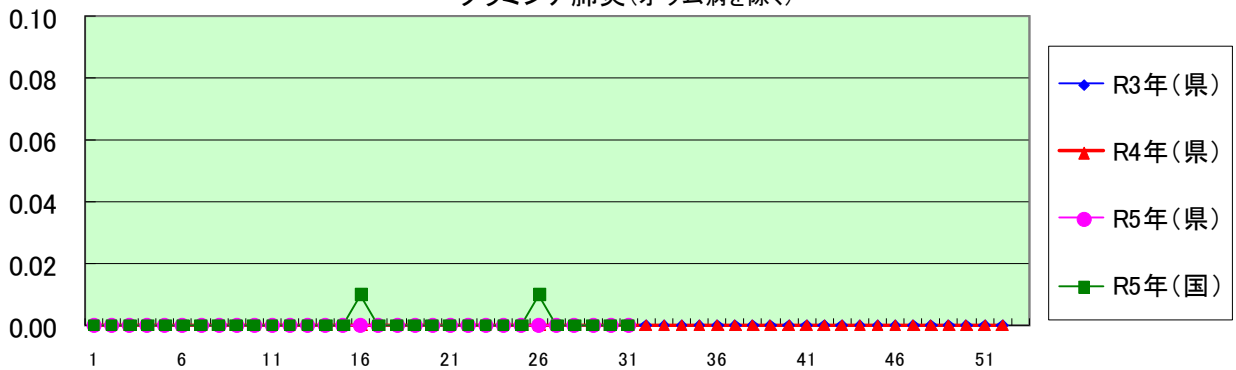
急性出血性結膜炎 (警報レベル 開始1 終息0.1)



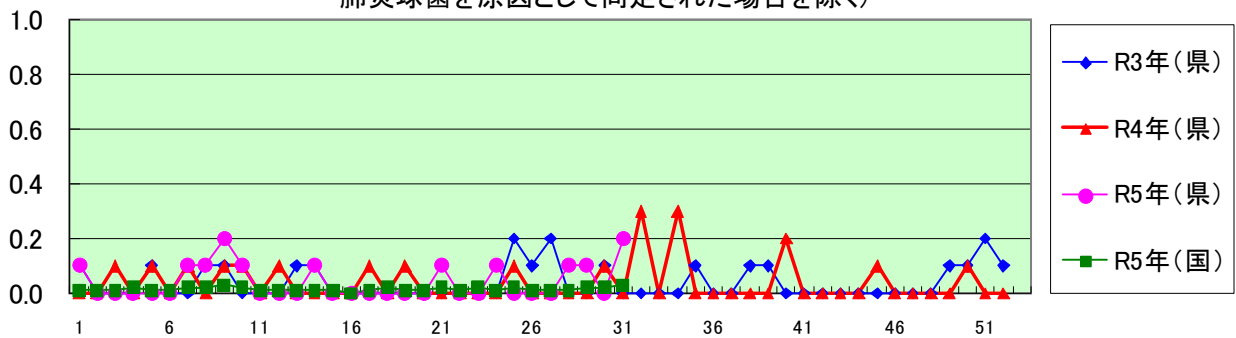
流行性角結膜炎 (警報レベル 開始8 終息4)



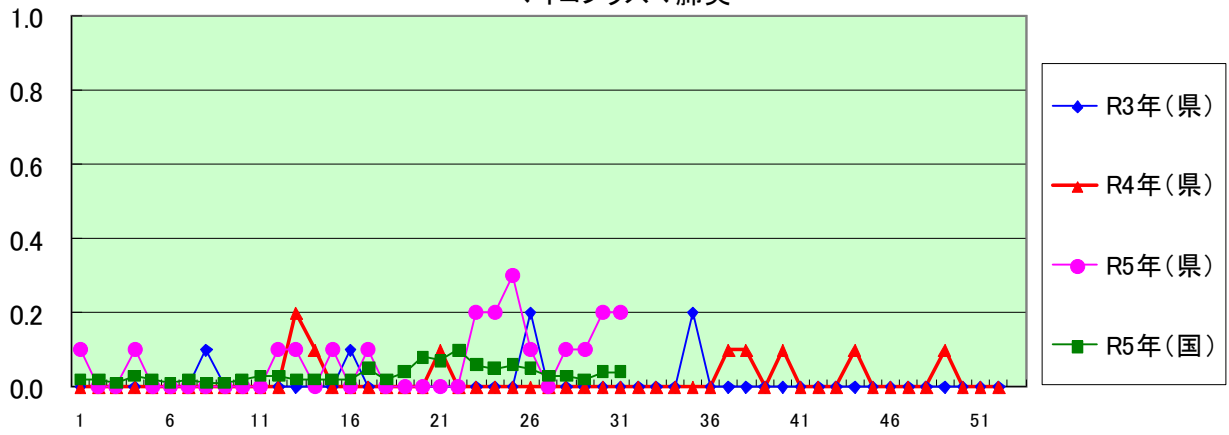
クラミジア肺炎(オウム病を除く)



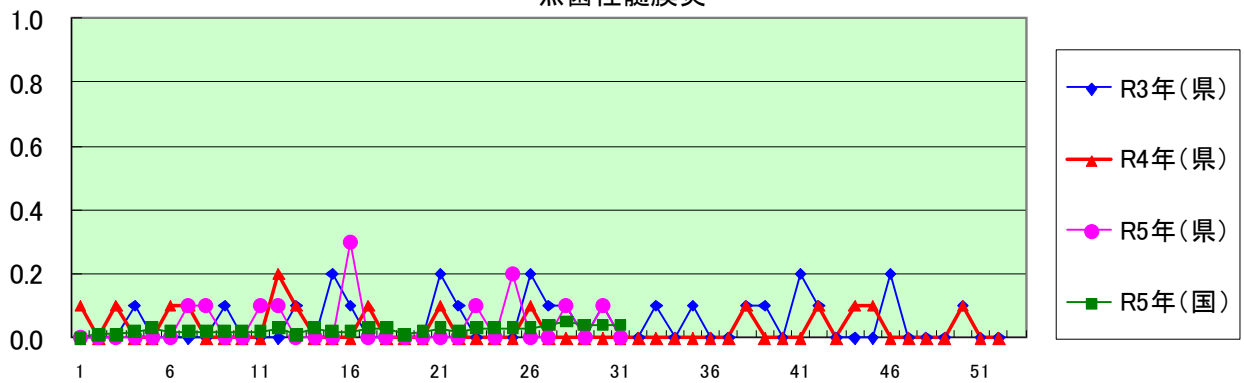
細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)



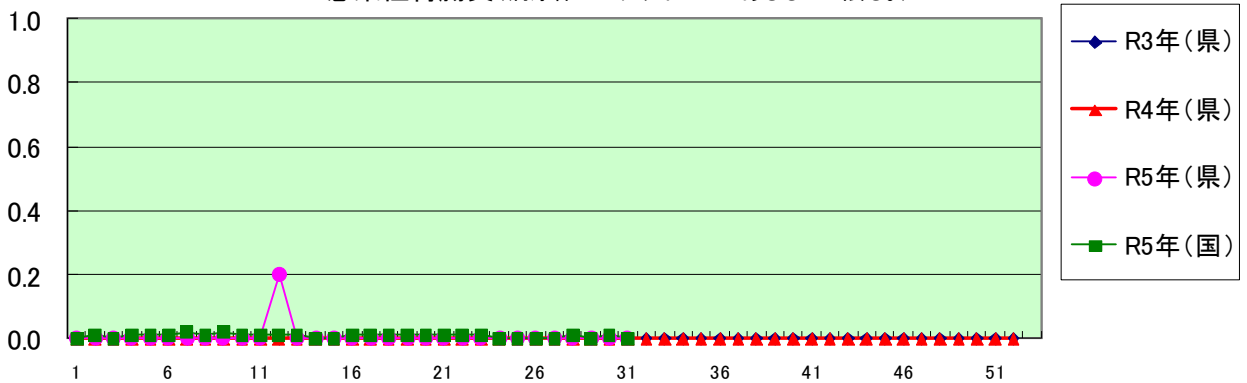
マイコプラズマ肺炎



無菌性髄膜炎



感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2023年 6 月

	静岡県							全国				
	1月	2月	3月	4月	5月	今月	計	3月	4月	5月	今月	計
性器クラミジア感染症	49	47	42	43	44	65	290	2,603	2,512	2,708	2,871	10,694
性器ヘルペスウイルス感染症	11	10	14	18	15	21	89	818	758	798	835	3,209
尖圭コンジローマ	10	12	12	20	12	6	72	577	562	610	610	2,359
淋菌感染症	18	11	20	8	13	25	95	857	773	831	775	3,236
性器クラミジア感染症(男)	16	19	12	13	13	25	98	1,330	1,302	1,410	1,408	5,450
性器クラミジア感染症(女)	33	28	30	30	31	40	192	1,273	1,210	1,298	1,463	5,244
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	4	1	2	7	5	9	28	315	293	317	325	1,250
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	7	9	12	11	10	12	61	503	465	481	510	1,959
尖圭コンジローマ(男)	6	9	1	8	3	1	28	372	379	410	403	1,564
尖圭コンジローマ(女)	4	3	11	12	9	5	44	205	183	200	207	795
淋菌感染症(男)	13	8	12	7	10	15	65	653	585	620	569	2,427
淋菌感染症(女)	5	3	8	1	3	10	30	204	188	211	206	809
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	13	18	18	25	25	23	122	1,207	1,012	1,210	1,213	4,642
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								61	57	116	95	329
薬剤耐性緑膿菌感染症								8	4	8	11	31

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2023年 6 月

	静岡県						全国			
	1月	2月	3月	4月	5月	今月	3月	4月	5月	今月
性器クラミジア感染症	1.63	1.57	1.40	1.43	1.47	2.17	2.66	2.57	2.76	2.91
性器ヘルペスウイルス感染症	0.37	0.33	0.47	0.60	0.50	0.70	0.84	0.78	0.81	0.85
尖圭コンジローマ	0.33	0.40	0.40	0.67	0.40	0.20	0.59	0.58	0.62	0.62
淋菌感染症	0.60	0.37	0.67	0.27	0.43	0.83	0.88	0.79	0.85	0.79
性器クラミジア感染症(男)	0.53	0.63	0.40	0.43	0.43	0.83	1.36	1.33	1.44	1.43
性器クラミジア感染症(女)	1.10	0.93	1.00	1.00	1.03	1.33	1.30	1.24	1.32	1.48
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.13	0.03	0.07	0.23	0.17	0.30	0.32	0.30	0.32	0.33
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.23	0.30	0.40	0.37	0.33	0.40	0.51	0.48	0.49	0.52
尖圭コンジローマ(男)	0.20	0.30	0.03	0.27	0.10	0.03	0.38	0.39	0.42	0.41
尖圭コンジローマ(女)	0.13	0.10	0.37	0.40	0.30	0.17	0.21	0.19	0.20	0.21
淋菌感染症(男)	0.43	0.27	0.40	0.37	0.33	0.50	0.67	0.60	0.63	0.58
淋菌感染症(女)	0.17	0.10	0.27	0.03	0.10	0.33	0.21	0.19	0.22	0.21
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.30	1.80	1.80	2.50	2.50	2.30	2.55	2.14	2.54	2.55
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							0.13	0.12	0.24	0.20
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.02	0.01	0.02	0.02

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2023年 6 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	65	2.17	21	0.70	6	0.20	25	0.83
賀茂								
熱海	3	3.00	3	3.00				
東部	8	1.60	1	0.20			1	0.20
御殿場								
富士	15	5.00	6	2.00			11	3.67
静岡市	14	2.33	5	0.83	5	0.83	6	1.00
中部	6	1.50	5	1.25			1	0.25
西部	15	3.00	1	0.20			3	0.60
浜松市	4	0.80			1	0.20	3	0.60

保健所名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	23	2.30	0		0	
賀茂	3	3.00				
熱海	1	1.00				
東部						
御殿場						
富士	2	2.00				
静岡市	13	6.50				
中部	2	2.00				
西部	1	1.00				
浜松市	1	0.50				

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

2023年 6 月

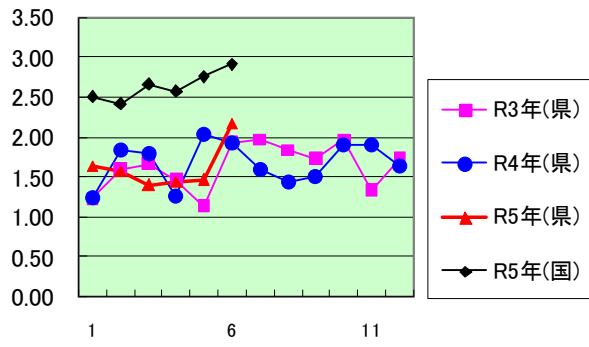
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					3	16	19	6	5	6	8	1	1				65
性器ヘルペスウイルス感染症					1	3		8		4	1	1	1			2	21
尖圭コンジローマ						3		1			1	1					6
淋菌感染症					2	3	4	3	4	2	1	4		2			25
性器クラミジア感染症(男)						4	4	2	2	5	7		1				25
性器クラミジア感染症(女)					3	12	15	4	3	1	1	1					40
性器ヘルペスウイルス感染症(男)						1		3		3			1			1	9
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					1	2		5		1	1	1				1	12
尖圭コンジローマ(男)											1						1
尖圭コンジローマ(女)						3		1				1					5
淋菌感染症(男)						1	1	2	3	2	1	3		2			15
淋菌感染症(女)					2	2	3	1	1			1					10
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症				1					1		1	2			1	17	23
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

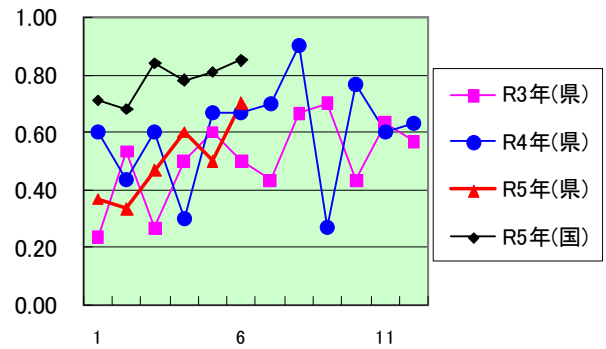
2023年 6 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					0.10	0.53	0.63	0.20	0.17	0.20	0.27	0.03	0.03				2.17
性器ヘルペスウイルス感染症					0.03	0.10		0.27		0.13	0.03	0.03	0.03			0.07	0.70
尖圭コンジローマ						0.10		0.03			0.03	0.03					0.20
淋菌感染症					0.07	0.10	0.13	0.10	0.13	0.07	0.03	0.13		0.07			0.83
性器クラミジア感染症(男)						0.13	0.13	0.07	0.07	0.17	0.23		0.03				0.83
性器クラミジア感染症(女)					0.10	0.40	0.50	0.13	0.10	0.03	0.03	0.03					1.33
性器ヘルペスウイルス感染症(男)						0.03		0.10		0.10			0.03			0.03	0.30
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					0.03	0.07		0.17		0.03	0.03	0.03				0.03	0.40
尖圭コンジローマ(男)											0.03						0.03
尖圭コンジローマ(女)						0.10		0.03				0.03					0.17
淋菌感染症(男)						0.03	0.03	0.07	0.10	0.07	0.03	0.10		0.07			0.50
淋菌感染症(女)					0.07	0.07	0.10	0.03	0.03			0.03					0.33
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症				0.10					0.10		0.10	0.20			0.10	1.70	2.30
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

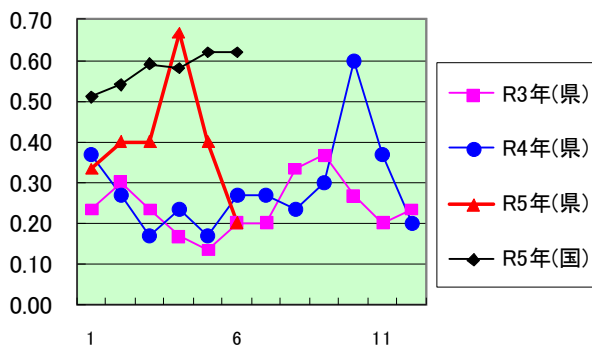
性器クラミジア感染症



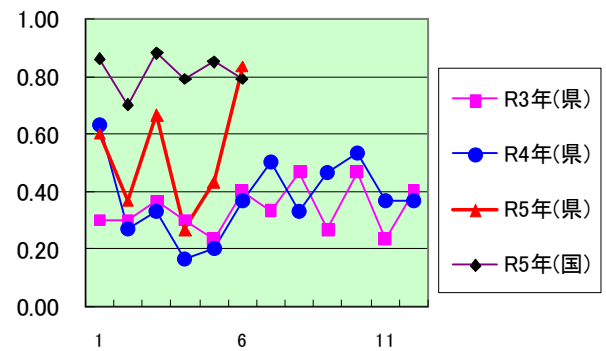
性器ヘルペスウイルス感染症



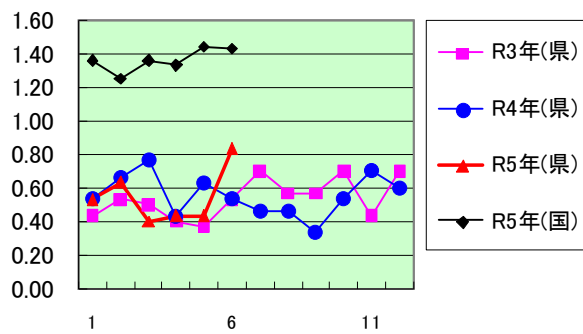
尖圭コンジローマ



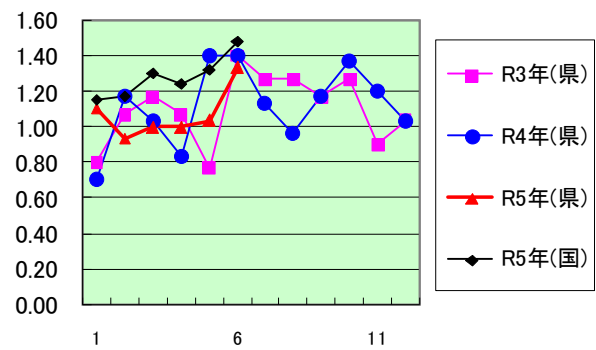
淋菌感染症



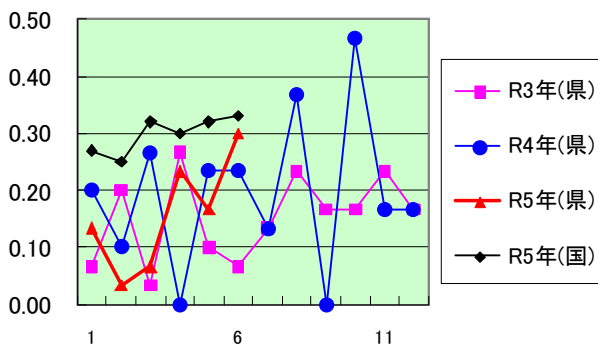
性器クラミジア感染症(男)



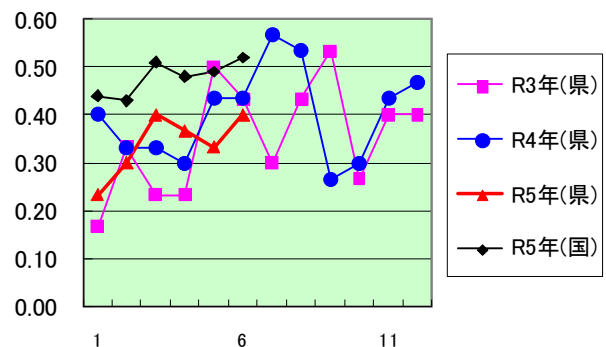
性器クラミジア感染症(女)



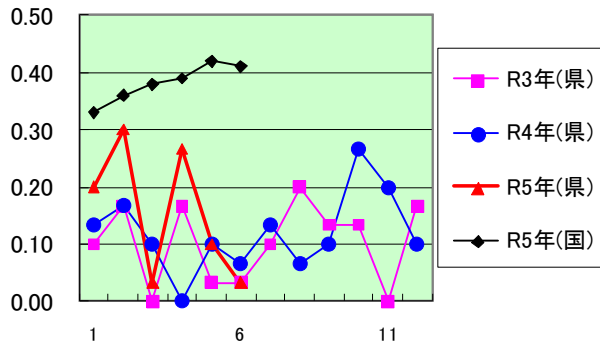
性器ヘルペスウイルス感染症(男)



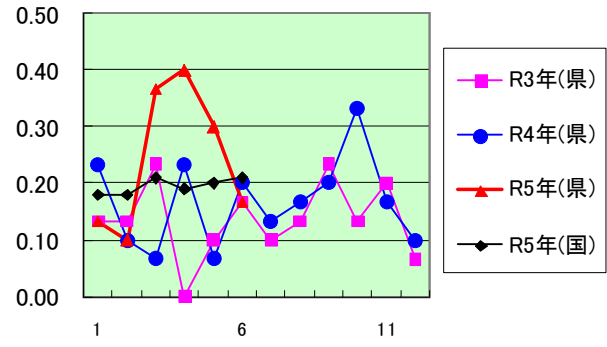
性器ヘルペスウイルス感染症(女)



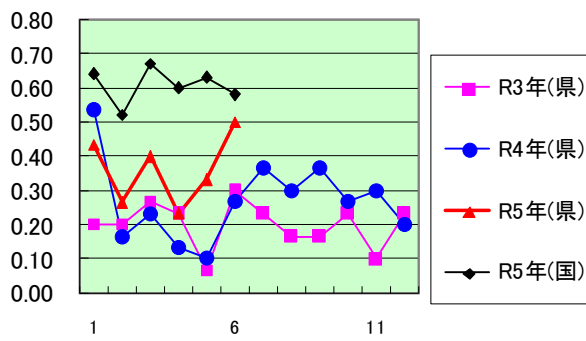
尖圭コンジローマ(男)



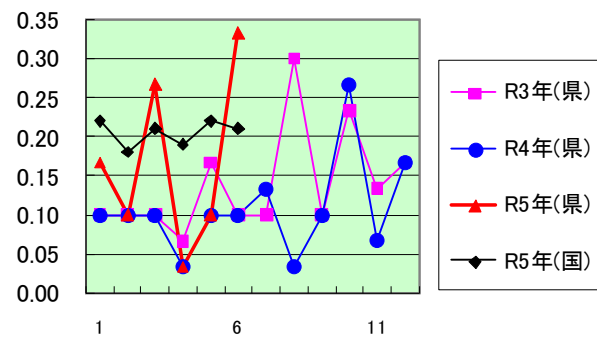
尖圭コンジローマ(女)



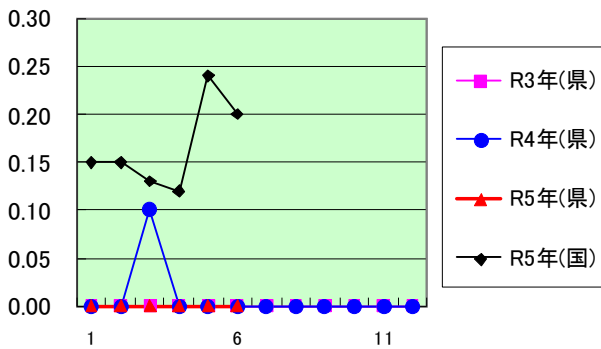
淋菌感染症(男)



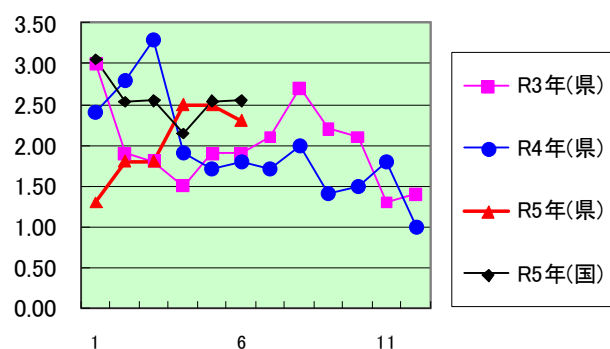
淋菌感染症(女)



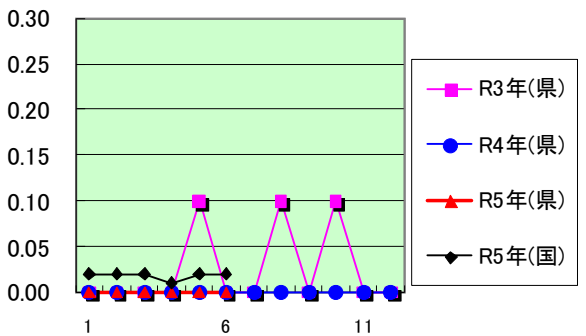
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

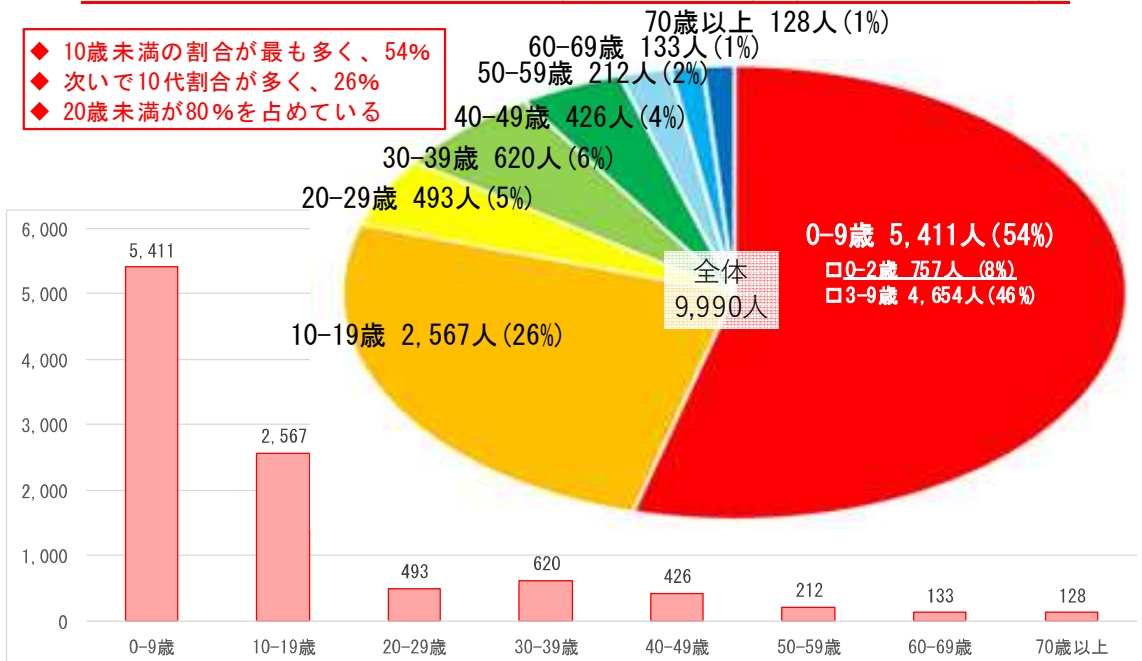


薬剤耐性緑膿菌感染症

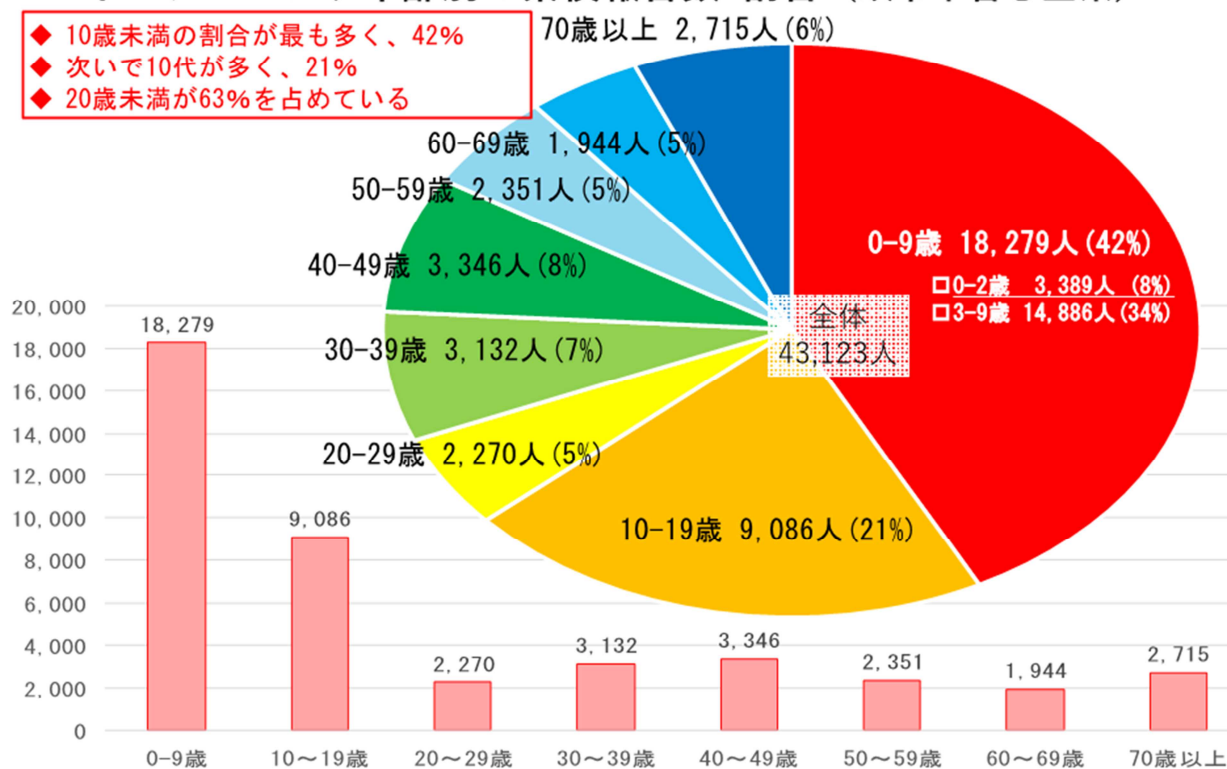


定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

**静岡県の2022-2023シーズン
インフルエンザ年齢別の累積報告数・割合**
2022年第51週～2023年第24週(12/19-6/18) (政令市含む全県)

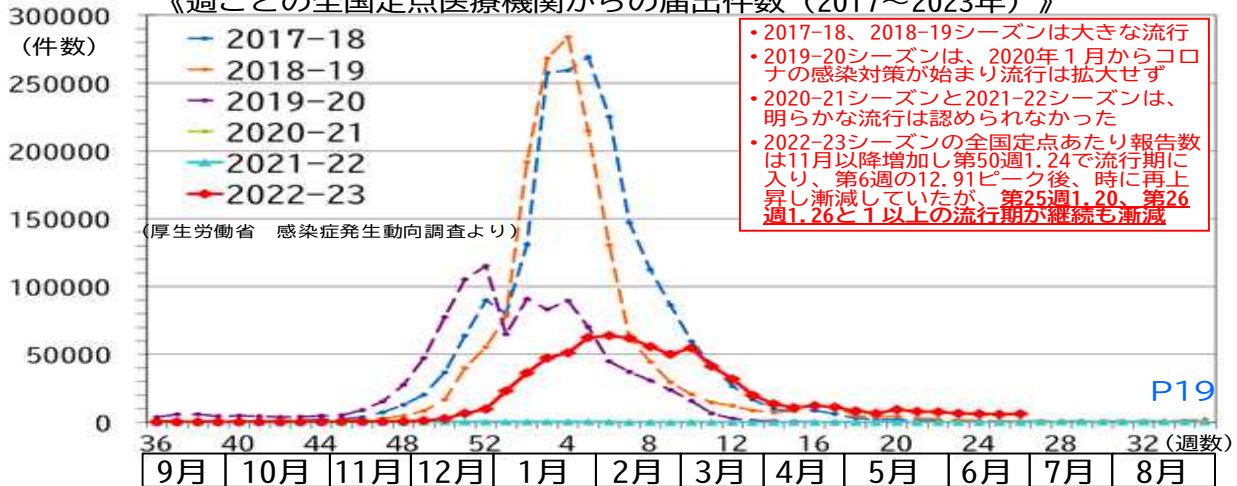


**前回、例年並の流行が見られた静岡県の2018-19シーズンの
インフルエンザ年齢別の累積報告数・割合 (政令市含む全県)**



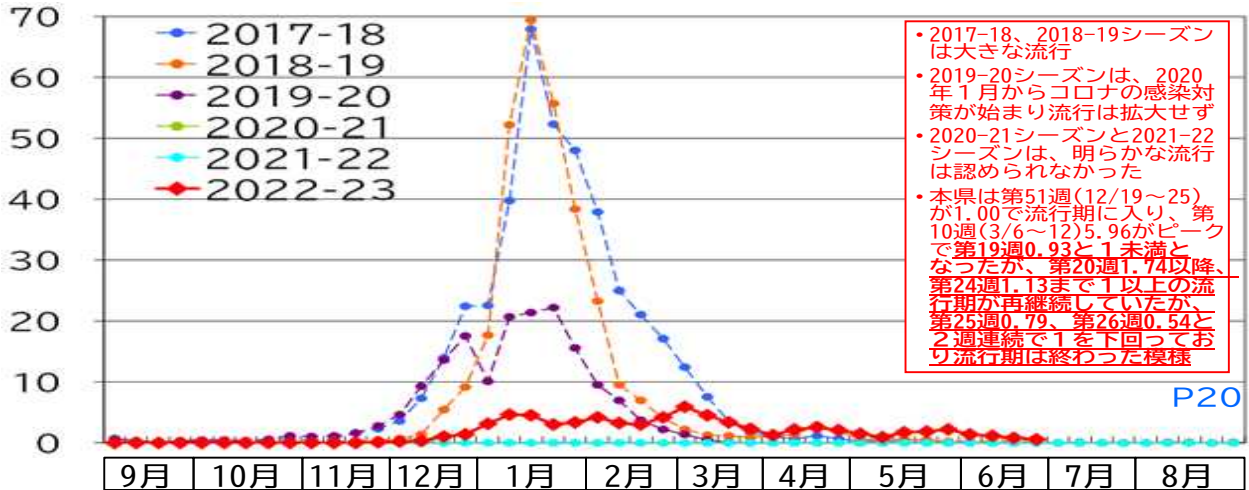
全国 今季のインフルエンザ流行状況 (6/26~7/2 第26週時点)

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数 (2017~2023年)》



- 2017-18、2018-19シーズンは大きな流行
- 2019-20シーズンは、2020年1月からコロナの感染対策が始まり流行は拡大せず
- 2020-21シーズンと2021-22シーズンは、明らかな流行は認められなかった
- 2022-23シーズンの全国定点あたり報告数は11月以降増加し第50週1.24で流行期に入り、第6週の12.91ピーク後、時に再上昇し漸減していたが、第25週1.20、第26週1.26と1以上の流行期が継続も漸減

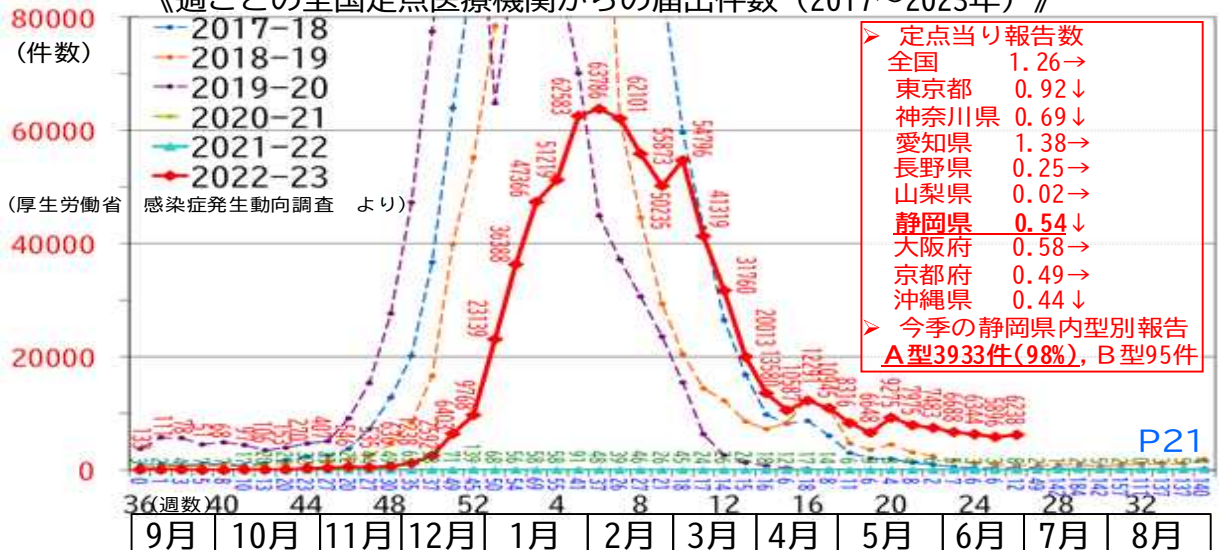
静岡県 インフルエンザ 定点医療機関あたりの報告数 (2017-18~22-23)



- 2017-18、2018-19シーズンは大きな流行
- 2019-20シーズンは、2020年1月からコロナの感染対策が始まり流行は拡大せず
- 2020-21シーズンと2021-22シーズンは、明らかな流行は認められなかった
- 本県は第51週(12/19~25)が1.00で流行期に入り、第10週(3/6~12)5.96がピークで第19週0.93と1未満となったが、第20週1.74以降、第24週1.13まで1以上の流行期が再継続していたが、第25週0.79、第26週0.54と2週連続で1を下回っており流行期は終わった模様

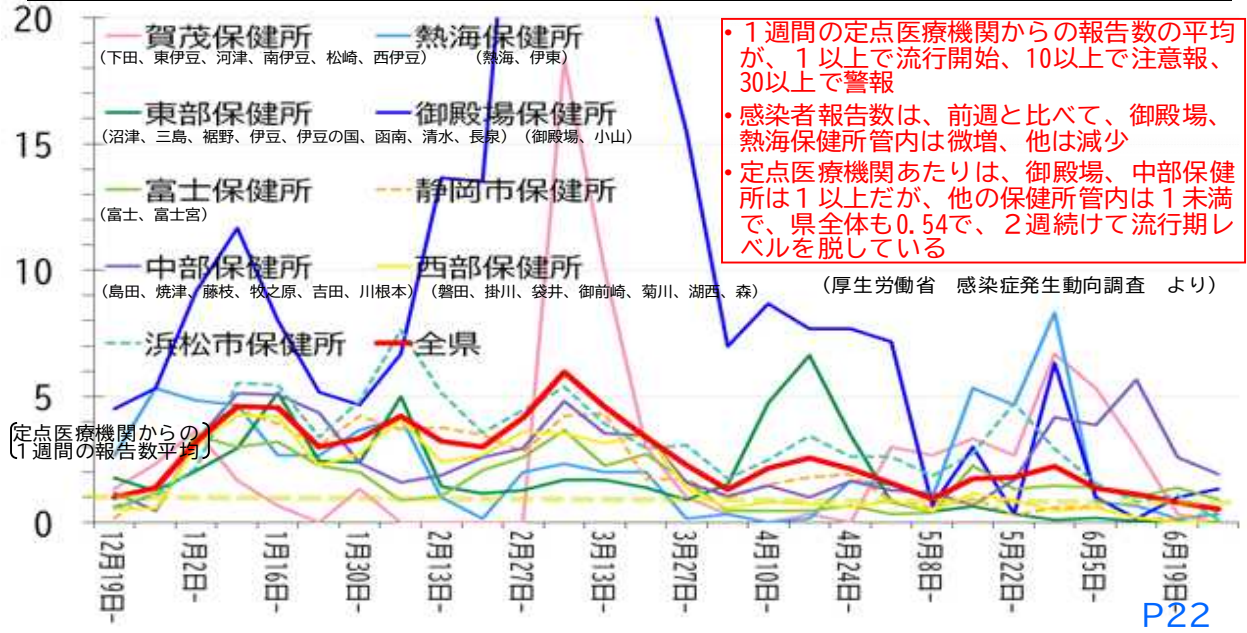
全国 今季のインフルエンザ流行状況 (6/26~7/2 第26週時点) 【拡大】

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数 (2017~2023年)》

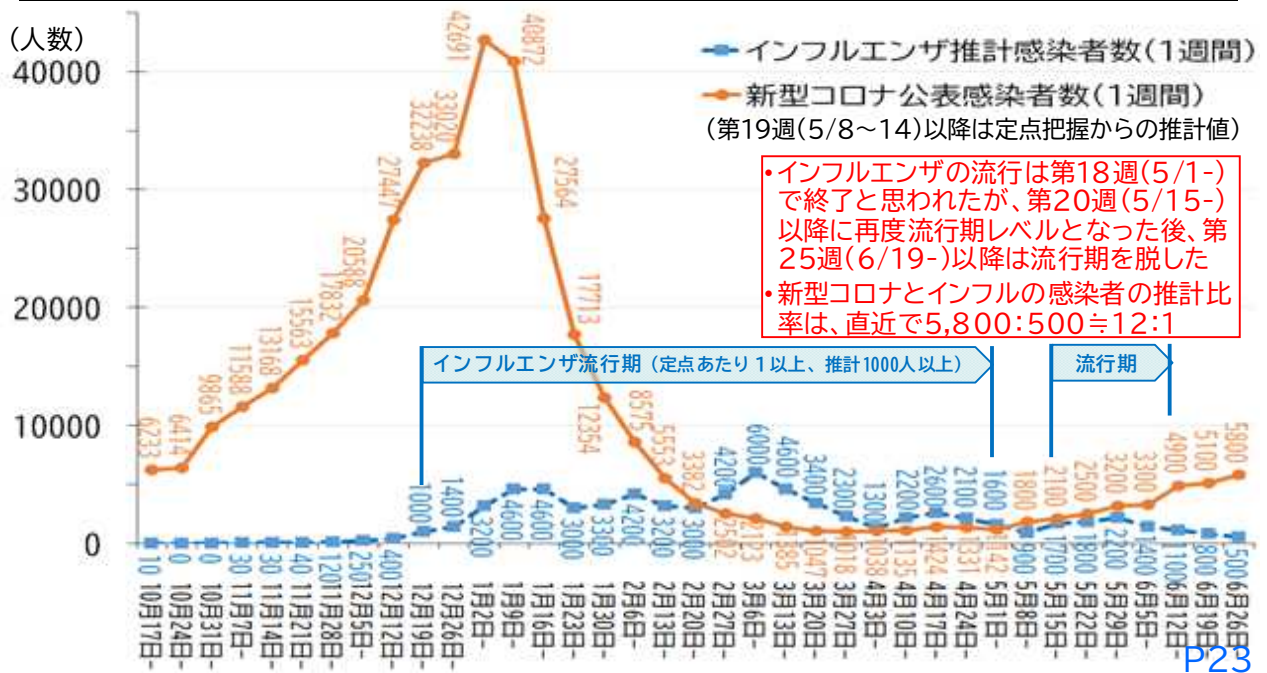


- 定点对当り報告数
- 全国 1.26↓
- 東京都 0.92↓
- 神奈川県 0.69↓
- 愛知県 1.38→
- 長野県 0.25→
- 山梨県 0.02→
- 静岡県 0.54↓
- 大阪府 0.58→
- 京都府 0.49→
- 沖縄県 0.44↓
- 今季の静岡県内型別報告
- A型3933件(98%), B型95件

静岡県の保健所管内別 1週間のインフルエンザ感染者 定点医療機関からの報告数 (2022.11/7~2023.7/2)



静岡県 新型コロナとインフルエンザの同時流行の状況 (2022.10/17~2023.7/2)



提供日 2023/08/08
 タイトル 令和5年度感染症媒介蚊定点モニタリング（7月分）の結果
 担当 健康福祉部 感染症対策局感染症対策課
 連絡先 ふじのくに感染症管理センター
 TEL 055-928-7272



1 要旨

平成26年のデング熱の大流行を受け、本県では平成27年から、**蚊の生息状況やウイルス保有の定期調査を実施**しています。

令和5年度も、蚊が増える6月～10月の間、県内4地点（賀茂・東部・中部・西部の各地区1地点）で月1回実施しています。

この度、7月に実施した、各地点における第2回調査について、結果が判明しましたので、お知らせします。

デングウイルス及びジカウイルスの検査結果は、全て「陰性」でした。

2 調査結果

（単位：匹）

区 分		6月	7月	合計
笹原公園 (賀茂郡河津町)	蚊の数	4	3	7
	うち、ヒトスジシマカのメス	1	2	3
	うち、検査結果陽性	0	0	0
愛鷹広域公園 (沼津市)	蚊の数	2	29	31
	うち、ヒトスジシマカのメス	1	5	6
	うち、検査結果陽性	0	0	0
吉田公園 (榛原郡吉田町)	蚊の数	5	23	28
	うち、ヒトスジシマカのメス	5	6	11
	うち、検査結果陽性	0	0	0
小笠山総合運動公園 (袋井市)	蚊の数	10	4	14
	うち、ヒトスジシマカのメス	2	0	2
	うち、検査結果陽性	0	0	0

今回結果判明分：捕獲した蚊の数 59匹 うち、ヒトスジシマカのメス 13匹（ウイルス検査の結果は全て陰性）

- ・ 公園全体を3区画に分け、各区画内の3地点で8分間ずつ、網で捕獲
- ・ 「蚊の数」は各区画で捕獲された数の合計
- ・ デング熱及びジカウイルス感染症の原因となるデングウイルス、ジカウイルスを媒介するのは日本国内ではヒトスジシマカのメスのみです。
- ・ ヒトスジシマカのメスのみ、デングウイルス、ジカウイルスの検査を実施しています。
- ・ 検査は県環境衛生科学研究所で実施

3 今後の結果公表

引き続き、各月分の検査結果が判明次第、公表します。
 (10月まで月1回、計5回予定)



ヒトスジシマカ
 (国立感染症研究所HP掲載)

新型コロナウイルス感染症について

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置付けが「5類感染症」となりました。

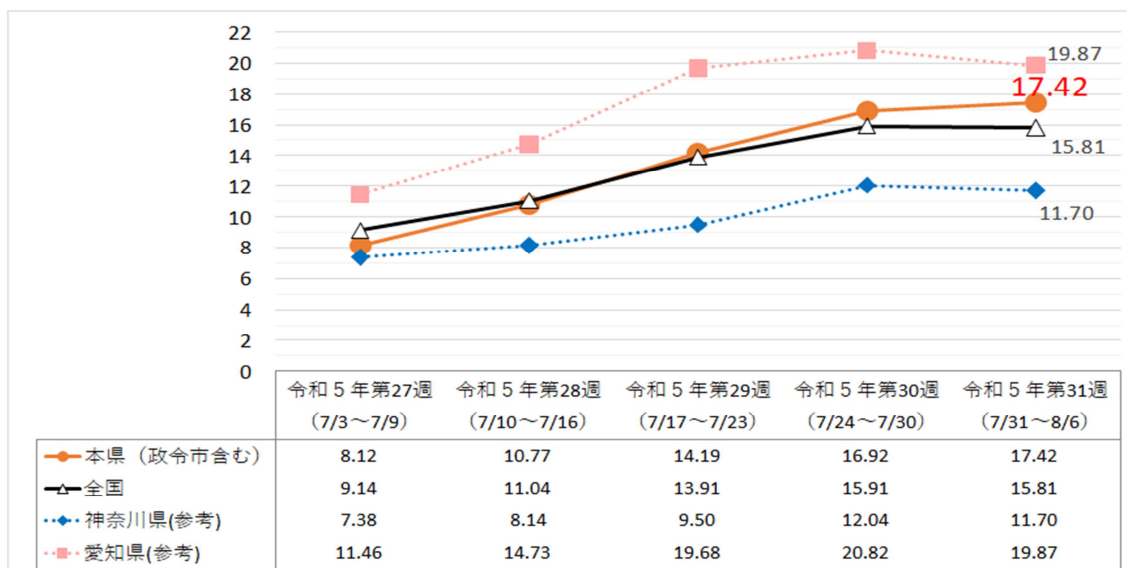
このため、感染状況の把握は、全数を毎日把握する方式ではなく、国が定める基準に従って指定された医療機関（定点医療機関）での患者数を1週間分まとめて把握する方式に変更されています。（季節性インフルエンザと同様の把握方法）

令和5年第31週（令和5年7月31日～8月6日）

★令和5年第31週の感染状況について

- ・県全体の定点医療機関当たり患者数は **17.42 人/週** で、前週(16.92 人/週)に比べて増加しており、**感染拡大警報レベル** となっています。
- ・この1週間の定点医療機関から報告された感染者数は、2,421 人で、前週(2,352 人)に比べて1.03倍です。
- ・この1週間の全感染者数は、約15,300 人(1日平均約2,200 人)と推計されます。
- ・東・中・西の地域別では、**県東部地域が感染拡大警報レベル**、県中部、県西部地域が感染拡大注意報レベルとなっています。
保健所管内別では、**賀茂、熱海、御殿場、富士、静岡市、西部保健所管内が感染拡大警報レベル**、東部、中部、浜松市保健所管内が感染拡大注意報レベルとなっています。

1 定点医療機関当たり患者数（単位：人/週）



全国及び隣接する神奈川県、愛知県も表示します。

2 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜令和5年第31週＞

保健所ごとに定点医療機関1か所当たりの人口や年齢構成などが異なるため、保健所間で数値の単純比較はできません。

保健所名	各保健所の管轄市町名	定点医療機関数 (A)	定点医療機関の感染者数 (B)	定点医療機関当たりの感染者数 (B/A)	県独自の注意報レベル※	県独自の警報レベル※	
県東部地域	賀茂	下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町	3	88	29.33	13以上	26以上
	熱海	熱海市、伊東市	6	159	26.50	9以上	18以上
	東部	沼津市、三島市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町	20	276	13.80	8以上	16以上
	御殿場	御殿場市、小山町	6	276	46.00	17以上	34以上
	富士	富士市、富士宮市	15	331	22.07	11以上	22以上
県東部地域		50	1130	22.60	10以上	20以上	
県中部地域	静岡市	静岡市	25	318	12.72	6以上	12以上
	中部	島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町	17	241	14.18	8以上	16以上
	県中部地域		42	559	13.31	7以上	14以上
県西部地域	西部	磐田市、掛川市、袋井市、御前崎市、菊川市、湖西市、森町	19	405	21.32	10以上	20以上
	浜松市	浜松市	28	327	11.68	7以上	14以上
	県西部地域		47	732	15.57	8以上	16以上
県全体		139	2421	17.42	8以上	16以上	

※県独自の注意報レベル：令和4年10月以降の第8波の新規感染者数の推移から、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を、暫定的に県独自の注意報レベルとして設定しています。（例えば、賀茂保健所の定点医療機関当たり患者数は13以上で注意報レベルということになります）

※県独自の警報レベル：1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり400人以上となった水準を、暫定的に県独自の警報レベルとして設定しています。

3 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜5週間の推移＞

保健所名	第27週 (7/3~7/9)	第28週 (7/10~7/16)	第29週 (7/17~7/23)	第30週 (7/24~7/30)	第31週 (7/31~8/6)	前週比推移	
県東部地域	賀茂	18.00	5.67	16.00	24.67	29.33	↓ ↑ ↑ ↑
	熱海	11.50	14.67	17.33	24.83	26.50	↑ ↑ ↑ ↑
	東部	7.80	10.10	11.60	13.70	13.80	↑ ↑ ↑ ↑
	御殿場	24.33	33.67	30.67	45.50	46.00	↑ ↓ ↑ ↑
	富士	9.93	15.00	16.93	23.60	22.07	↑ ↑ ↑ ↓
県東部地域		11.48	14.68	16.44	22.48	22.60	↑ ↑ ↑ ↑
県中部地域	静岡市	7.08	8.48	12.32	11.36	12.72	↑ ↑ ↓ ↑
	中部	7.88	11.35	16.06	13.82	14.18	↑ ↑ ↓ ↑
県中部地域		7.40	9.64	13.83	12.36	13.31	↑ ↑ ↓ ↑
県西部地域	西部	6.95	10.95	15.47	18.79	21.32	↑ ↑ ↑ ↑
	浜松市	3.96	5.36	9.86	12.57	11.68	↑ ↑ ↑ ↓
県西部地域		5.17	7.62	12.13	15.09	15.57	↑ ↑ ↑ ↑
県全体		8.12	10.77	14.19	16.92	17.42	↑ ↑ ↑ ↑

4 感染拡大注意報・警報

注意報レベル：感染者が急増するおそれがある状況

警報レベル：感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況

(1) 県全体の状況

県全体	
8	16
17.42	
警報	

【凡例】

保健所名	
保健所管轄市町名	
注意報の 基準値	警報の 基準値
定点当たり患者数	
現在の状況	

(2) 地域別の状況

県東部地域		県中部地域		県西部地域	
10	20	7	14	8	16
22.60		13.31		15.57	
警報		注意報		注意報	

(3) 保健所別の状況

賀茂保健所	熱海保健所	東部保健所	御殿場保健所	富士保健所	
下田市, 東伊豆町, 河津町, 南伊豆町, 松崎町, 西伊豆町	熱海市, 伊東市	沼津市, 三島市, 裾野市, 伊豆市, 伊豆の国市, 函南町, 清水町, 長泉町	御殿場市, 小山町	富士市, 富士宮市	
13	9	8	17	11	
26	18	16	34	22	
29.33		46.00		22.07	
警報		警報		警報	

静岡市保健所	中部保健所	西部保健所	浜松市保健所
静岡市	島田市, 焼津市, 藤枝市, 牧之原市, 吉田町, 川根本町	磐田市, 掛川市, 袋井市, 御前崎市, 菊川市, 湖西市, 森町	浜松市
6	8	10	7
12	16	20	14
12.72		11.68	
警報		注意報	

<県民の皆様へ>

改めて、以下の点に御協力をお願いします。

- ① 医療機関や高齢者施設の受診や訪問時は、できるだけマスクを着用
- ② 体調に少しでも違和感（特にのど・鼻）があれば、マスクを着用
- ③ 症状（咳・熱・のど痛）が出た時は、学校や仕事を休んで、帰省・旅行も延期し療養を
- ④ 咳・熱・のど痛などの症状が軽く持病のない若い方は、休日夜間の救急外来受診は控えて平日昼間に受診するか、市販薬で自宅療養を
- ⑤ 人が集まる所では、十分な換気・できるだけマスク着用・手洗い励行
- ⑥ 高齢者や持病のある方は、ワクチン接種を検討

なお、熱中症予防の観点から、近くに人がいないときや屋外では、マスクは不要です。

<事業者・学校の皆様へ>

症状が軽く持病もないため市販薬等で対応可能な方が、事業者等から検査結果や診断書を求められたとの理由で医療機関を受診することが外来医療のひっ迫の一因となっています。

外来医療のひっ迫を避けるため、感染まん延時は手続上必要な場合などを除いて、検査や診断書取得を目的とした受診を従事者等に求めないようお願いします。

5 感染者全数の推計値

保健所名		定点医療機関の 感染者数 (A)	管内の 定点割合 (B)※1	管内の感染者 全数の推計値 (A/B) ※2
	賀茂	88	0.335	-
	熱海	159	0.268	-
	東部	276	0.150	-
	御殿場	276	0.505	-
	富士	331	0.215	-
県東部地域		1130	0.221	5113
	静岡市	318	0.109	-
	中部	241	0.154	-
	県中部地域	559	0.125	4472
	西部	405	0.166	-
	浜松市	327	0.117	-
	県西部地域	732	0.134	5463
県全体		2421	0.158	15323

※1 定点割合

令和4年10月3日から令和5年5月7日までに定点医療機関から報告のあった感染者数を、この期間の全感染者数で割った値。例えば県全体では、この期間の定点医療機関からの報告数は、全感染者数の15.8% (0.158) でした。

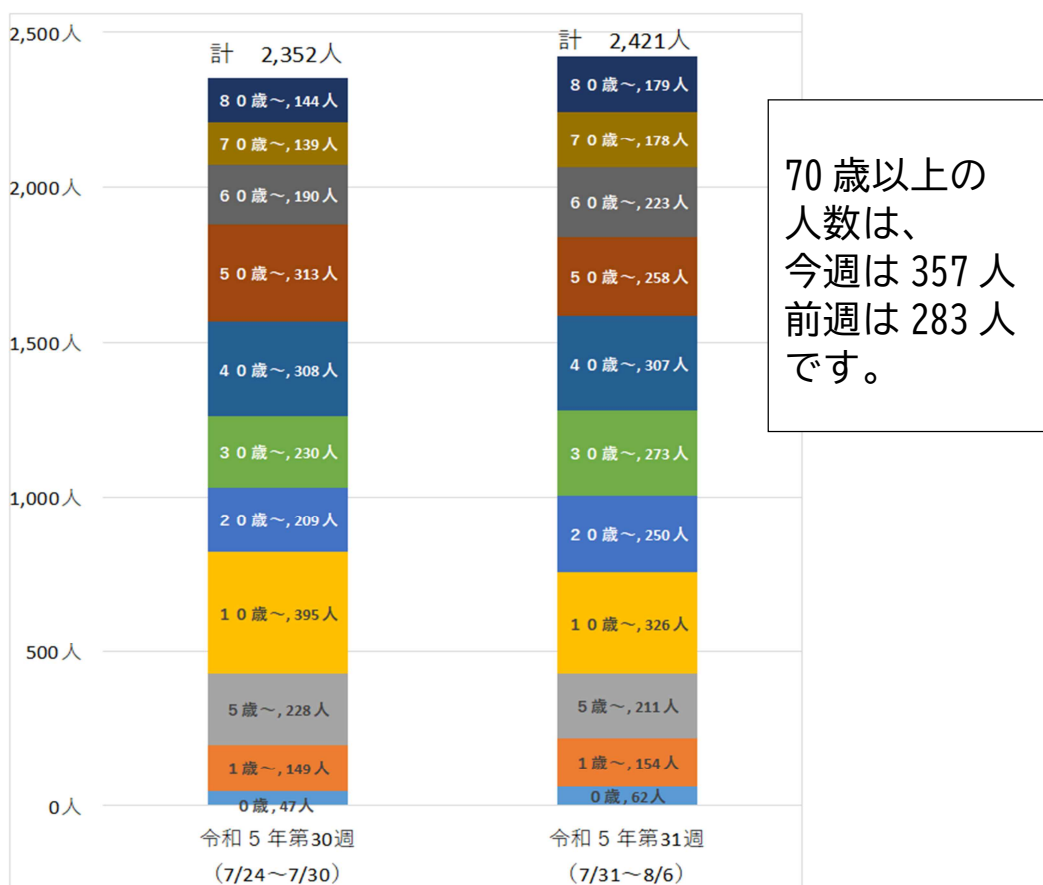
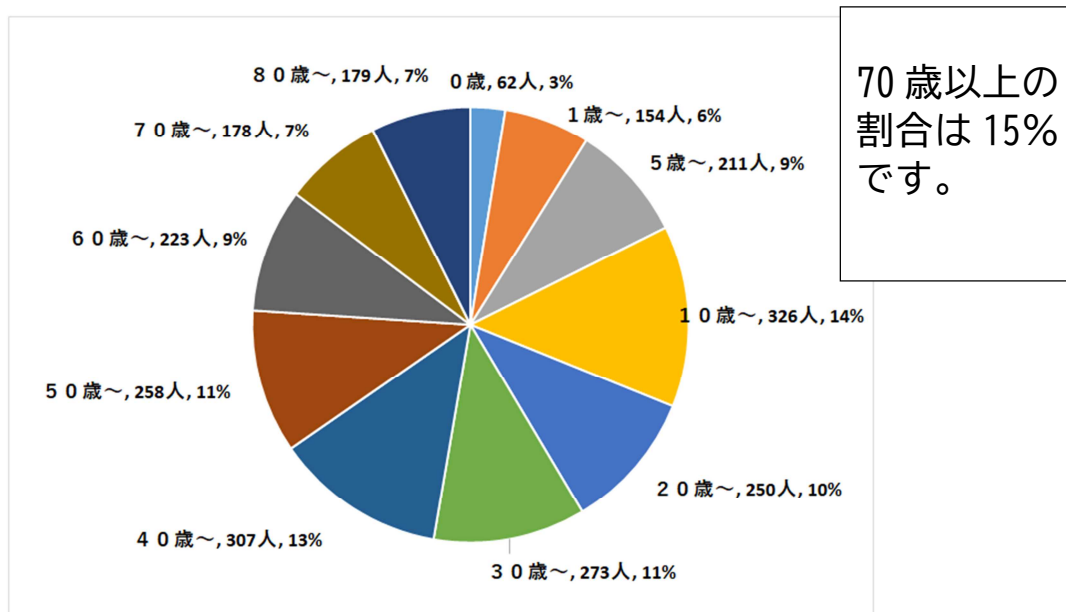
※2 推計値の算出方法

感染者全数の推計値は、定点医療機関の感染者数を定点割合で除して算出しており (A÷B)、県全体の感染者数の全数は、 $2421 \div 0.158 = 15323$ 人と推計されます。各地域ごとに異なる定点割合で推計値を算出しているため、県東部地域、県中部地域、県西部地域の推計値の総和は必ずしも県全体の推計値と同じ値にはなりません。なお、人口が少ない地域は定点医療機関が少なく、算出される推計値は統計的に信頼性が低くなるため、各保健所ごとの推計値は示していません。

6 定点医療機関の年齢階級別患者数

0歳	1歳～	5歳～	10歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～
62人	154人	211人	326人	250人	273人	307人	258人

60歳～	70歳～	80歳～	不明	合計
223人	178人	179人	0人	2,421人



7 令和5年5月8日以降（令和5年春開始接種） 高齢者（65歳以上）の3～6回目接種の実績

集計期間	静岡県			(参考)全国
	接種者数	接種者数累計	接種率	接種率
令和5年第27週 (7/3～7/9)	37,215	496,303	45.02%	46.28%
令和5年第28週 (7/10～7/16)	23,934	520,237	47.19%	48.90%
令和5年第29週 (7/17～7/23)	17,742	537,979	48.80%	50.66%
令和5年第30週 (7/24～7/30)	18,015	555,994	50.44%	52.42%
令和5年第31週 (7/31～8/6)	13,874	569,868	51.70%	53.65%

接種対象者のうち、高齢者以外の基礎疾患のある者、医療従事者及び高齢者施設等従事者は、上表には含まれません。

<p>令和5年春開始接種の概要</p> <p>○接種時期 令和5年5月8日開始</p> <p>○接種対象者 2回以上の接種を完了し、以下に該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者(65歳以上)及び基礎疾患のある者(接種の努力義務あり) ・医療従事者及び高齢者施設等従事者(接種の努力義務なし) <p>○使用ワクチン 以下のいずれかを1回のみ接種可</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オミクロン株対応2価ワクチン(ファイザー社及びモデルナ社) 前回接種から3か月以上経過 ・武田社ワクチン(ノババックス) 前回接種から6か月以上経過
--

変異株に関する項目については、4月3日(月)分から当面の間、2週間ごとに集計しています。
(本日は、7月24日(月)～8月6日(日)分の集計)

8-1 変異株ゲノム解析結果について（政令市除く）

6月下旬～7月中旬に発症した方について、国立遺伝学研究所（三島市）において実施したゲノム解析の結果は、以下のとおりです。（県所管分）

（結果判明日：7月24日(月)及び7月31日(月)）

<変異株の件数>

保健所	賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株	0	5	13	0	0	0	6	24
	(内BA.2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	(内BA.5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)
(内組換え体)	(0)	(5)	(13)	(0)	(0)	(0)	(5)	(23)

8-2 本県の変異株の判明状況（8月6日時点）

		合計	県	静岡市	浜松市
合計 (デルタ株+オミクロン株)	判明者数	10,016	5,660	2,298	2,058
	(前回からの増加数)	(61)	(27)	(15)	(19)
デルタ株 (R3.5.16~)	判明者数	2,411	1,256	648	507
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
オミクロン株 (R4.1.1~)	判明者数	7,605	4,404	1,650	1,551
	(前回からの増加数)	(61)	(27)	(15)	(19)
※オミクロン株 【内、BA.2】	判明者数	1,422	662	432	328
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、BA.5】	判明者数	3,508	2,392	831	285
	(前回からの増加数)	(2)	(1)	(1)	(0)
※オミクロン株 【内、組換体】	判明者数	201	109	37	55
	(前回からの増加数)	(59)	(26)	(14)	(19)

※県：国立遺伝学研究所および国立感染症研究所でゲノム解析を実施

静岡市：国立感染症研究所でゲノム解析を実施

浜松市：浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

8-3 本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（8月6日時点）

	オミクロン株判明数				全オミクロン株に占める割合		
	合計	内、BA.2	内、BA.5	内、組換体	BA.2	BA.5	組換体
5月1日(月)～ 5月14日(日)	7	3	0	4	42.9%	0.0%	57.1%
5月15日(月)～ 5月28日(日)	21	1	4	16	4.8%	19.0%	76.2%
5月29日(月)～ 6月11日(日)	15	0	0	15	0.0%	0.0%	100.0%
6月12日(月)～ 6月25日(日)	14	1	4	9	7.1%	28.6%	64.3%
6月26日(月)～ 7月9日(日)	67	2	1	64	3.0%	1.5%	95.5%
7月10日(月)～ 7月23日(日)	12	0	0	12	0.0%	0.0%	100.0%
7月24日(月)～ 8月6日(日)	61	0	2	59	0.0%	3.3%	96.7%

8-4 ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む）

（7月24日～8月6日判明分）

系統名※	判明数	割合
BA. 2. 75	0	0. 0%
BS. 1	0	0. 0%
BA. 4. 6	0	0. 0%
BQ. 1	1	1. 6%
XBB	59	96. 7%
その他	1	1. 6%
計	61	100. 0%

※国立感染症研究所「感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株について（第22報）」において、「引き続き国内外での動向の注視、知見の収集とともに、国内でのゲノムサーベイランスを継続していく必要がある」とされている系統を掲載しています。